



show コマンド

ここでは、Cisco NX-OS ユニキャスト ルーティング **show** コマンドについて説明します。

show bgp

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show bgp** コマンドを使用します。

```
show bgp {{ipv4 | ipv6} {unicast | multicast} | all} [addr | prefix [longer-prefixes]] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明

ipv4	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を示します。
ipv6	(任意) IPv6 アドレス ファミリの BGP 情報を示します。
unicast	ユニキャストアドレス ファミリの BGP 情報を示します。
multicast	マルチキャストアドレス ファミリの BGP 情報を示します。
all	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を示します。
addr	(任意) 選択したアドレス ファミリからのネットワーク。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D、IPv6 の場合は A:B::C:D です。
prefix	(任意) 選択したアドレス ファミリからのプレフィクス。フォーマットは、IPv4 の場合は A.B.C.D/length、IPv6 の場合は A:B::C:D/length です。
longer-prefixes	(任意) プレフィクスと特定のルートを示します。
vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

■ show bgp

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
	4.0(3)	IPv6 アドレスおよびプレフィックスのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、BGP テーブルのエントリを示します。

```
switch(config-router)# show bgp ipv6 unicast  
BGP routing table information for VRF default, address family IPv6 Unicast
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear bgp	BGP テーブルのエントリをクリアします。

show bgp sessions

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) セッションを表示するには、**show bgp sessions** コマンドを使用します。

```
show bgp sessions [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	<i>vrf vrf-name</i> (任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
-----------	---

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
---------	------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
---------------	---

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
------------	------------------------

例	次の例では、BGP セッションを示します。
---	-----------------------

```
switch# show bgp sessions
Total peers 0, established peers 0
ASN 33.33
VRF default, local ASN 33.33
peers 0, established peers 0, local router-id 192.168.1.222
State: I-Idle, A-Active, O-Open, E-Established, C-Closing, S-Shutdown
Flaps LastUpDn|LastRead|LastWrit St Port(L/R) Notif(S/R)
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear bgp	BGP セッションをクリアします。

show forwarding

転送情報を表示するには、**show forwarding** コマンドを使用します。

```
show forwarding [ip | ipv4 | ipv6] {adjacency | interfaces | route} module slot [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明

ip	(任意) IPv4 転送情報を示します。
ipv4	(任意) IPv4 転送情報を示します。
ipv6	(任意) IPv6 転送情報を示します。
adjacency	隣接情報を示します。
interfaces	モジュール上のインターフェイスの転送情報を示します。
route	(任意) モジュール上のルートの転送情報を示します。
module slot	モジュールの情報を示します。スロット範囲は、ハードウェア プラットフォームによって異なります。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。

コマンドモード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

モジュールで転送情報を表示するには、スーパーバイザで **show forwarding** コマンドを使用します。任意で **attach module** コマンドを使用してモジュールを接続し、モジュールで **show forwarding** コマンドを使用できます。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、モジュール 2 の転送情報を示します。

```
switch# show forwarding route module 2
```

```
IPv4 routes for table default/base
```

```
-----+-----+-----
Prefix          | Next-hop          | Interface
-----+-----+-----
0.0.0.0/32      | Drop              | Null0
255.255.255.255/32 | Receive          | sup-eth1
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip fib	FIB に関する情報を示します。

show forwarding distribution

転送分散情報を表示するには、**show forwarding distribution** コマンドを使用します。

show forwarding distribution [clients | fib-state]

シンタックスの説明

<i>clients</i>	(任意) ユニキャストクライアントの転送分散情報を示します。
<i>fib-state</i>	(任意) ユニキャスト FIB の転送分散ステートを示します。

コマンドモード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、ユニキャストクライアントの転送情報を示します。

```
switch# show forwarding distribution clients

id  pid      shmem-start  shmem-end  shmem-name
--  -
 1  3646    0x64f70120  0x64fc0000  u6rib-ufdm
 2  3647    0x64b50120  0x64d50000  urib-ufdm
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip fib distribution	FIB に関する分散情報を示します。

show forwarding inconsistency

転送不一致チェッカーの結果を表示するには、**show forwarding inconsistency** コマンドを使用します。

```
show forwarding inconsistency [ip | ipv4] [unicast] module slot [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>ip</i>	(任意) IPv4 転送不一致情報を示します。
<i>ipv4</i>	(任意) IPv4 転送不一致情報を示します。
<i>unicast</i>	(任意) ユニキャストルートの転送不一致情報を示します。
<i>module slot</i>	モジュールの不一致情報を示します。スロット範囲は、ハードウェア プラットフォームによって異なります。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの不一致情報を示します。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **test forwarding inconsistency** コマンドの結果を表示するには、**show forwarding inconsistency** コマンドを使用します。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、モジュール 2 の転送不一致情報を示します。

```
switch# show forwarding inconsistency module 2
Consistency check : table_id(0x1) slot(2)
No inconsistent adjacencies.
No inconsistent routes.
```

関連コマンド	コマンド	説明
	test forwarding inconsistency	転送不一致チェッカーを開始します。

show glbp

Gateway Load Balancing Protocol (GLBP) 情報を表示するには、**show glbp** コマンドを使用します。

```
show glbp [interface type number] [group number] [state] [brief] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>interface type number</i>	(任意) GLBP 情報を表示するインターフェイスを指定します。
<i>group number</i>	(任意) GLBP グループ番号を指定します。範囲は 0 ~ 1023 です。
<i>state</i>	(任意) GLBP ルータのステート。ステートは、 active 、 disabled 、 init 、 listen 、または standby です。
<i>brief</i>	(任意) 1 行の出力で各バーチャル ゲートウェイまたはバーチャル フォワーダを要約します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。Cisco NX-OS Release 4.0(2) 以降のリリースでサポートされます。

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
	4.0(2)	vrf キーワードのサポートが追加されました。

使用上のガイドライン GLBP グループに関する情報を表示するには、**show glbp** コマンドを使用します。**brief** キーワードは、各バーチャル ゲートウェイまたはバーチャル フォワーダに関する情報を 1 行で表示します。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次に、GLBP 情報を表示する例を示します。

```
switch# show glbp

Ethernet2/1 - Group 10
  State is Active
    2 state changes, last state change 23:50:33
  Virtual IP address is 192.0.2.10
  Hello time 5 sec, hold time 18 sec
    Next hello sent in 4.300 secs
  Redirect time 600 sec, forwarder time-out 7200 sec
  Authentication MD5, key "ThisStringIsTheSecretKey"
  Preemption enabled, min delay 60 sec
  Active is local
  Standby is unknown
  Priority 254 (configured)
  Weighting 105 (configured 110), thresholds: lower 95, upper 105
    Track object 2 state Down decrement 5
  Load balancing: host-dependent
  Group members:
    0016.C76C.85DC (7.199.10.1) local
  There is 1 forwarder (1 active)
  Forwarder 1
    State is Active
      1 state change, last state change 23:50:15
      MAC address is 0007.b400.0101 (default)
      Owner ID is 0005.0050.6c08
      Redirection enabled
      Preemption enabled, min delay 60 sec
      Active is local, weighting 105
```

次に、GLBP 情報の簡単な説明を表示する例を示します。

```
switch# show glbp brief

Interface  Grp  Fwd Pri State   Address           Active router  Standby router
Eth2/1     10  -   254 Active  192.0.2.10       local          unknown
Eth1/2     10  1   7  Active  0007.b400.0101   local          -
```

次に、GLBP インターフェイスおよびグループ番号を指定する例を示します。

```
switch# show glbp interface ethernet2/2 group 1

Ethernet2/2 - Group 1
  State is Listen
    64 state changes, last state change 00:00:54
  Virtual IP address is 10.1.0.7
  Hello time 50 msec, hold time 200 msec
    Next hello sent in 0.030 secs
  Redirect time 600 sec, forwarder time-out 14400 sec
  Authentication text "authword"
  Preemption enabled, min delay 0 sec
  Active is 10.1.0.2, priority 105 (expires in 0.184 sec)
  Standby is 10.1.0.3, priority 100 (expires in 0.176 sec)
  Priority 96 (configured)
  Weighting 100 (configured 100), thresholds: lower 95, upper 100
    Track object 1 state Up decrement 10
  Load balancing: round-robin
  Group members:
    0004.4d83.4801 (10.0.0.0)
    0010.7b5a.fa41 (10.0.0.1)
    00d0.bbd3.bc21 (10.0.0.2) local
```

表 2 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 2 show glbp フィールドの説明

フィールド	説明
Ethernet2/1 - Group	インターフェイス タイプおよびインターフェイスの GLBP グループ番号
State is	<p>バーチャル ゲートウェイのステート。バーチャル ゲートウェイの場合、ステートは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Active — ゲートウェイはアクティブ バーチャル ゲートウェイ (AVG) で、バーチャル IP アドレスの Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 要求に応答します。 • Disabled — バーチャル IP アドレスはまだ設定されていない、または学習されていませんが、別の GLBP 設定が存在します。 • Initial — バーチャル IP アドレスは設定されている、または学習されていますが、バーチャル ゲートウェイの設定が完全ではありません。インターフェイスはアップ状態で、ルート IP に設定されている必要があります。インターフェイス IP アドレスが設定されている必要があります。 • Listen — バーチャル ゲートウェイは hello パケットを受信し、アクティブまたはスタンバイ バーチャル ゲートウェイが使用できなくなった場合に Speak ステートに変更できます。 • Speak — バーチャル ゲートウェイはアクティブまたはスタンバイ バーチャル ゲートウェイになろうとします。 • Standby — ゲートウェイは次に AVG になります。 <p>バーチャル フォワーダの場合、ステートは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Active — ゲートウェイは AVG で、バーチャル フォワーダの Media Access Control (MAC; メディア アクセス制御) アドレスに送信されたパケットを転送します。 • Disabled — 仮想 MAC アドレスが割り当てられていないか、学習されていません。Disabled ステートに変更したバーチャル フォワーダは削除されるので、このステートは移行ステートになります。 • Initial — 仮想 MAC アドレスは既知ですが、バーチャル フォワーダの設定は完全ではありません。インターフェイスはアップ状態で、ルート IP に設定されている必要があります。インターフェイス IP アドレスは設定されている必要があります。バーチャル IP アドレスは既知でなければいけません。 • Listen — バーチャル フォワーダは hello パケットを受信し、AVF が使用できなくなった場合に Active ステートに変更できます。
Virtual IP address is	GLBP グループのバーチャル IP アドレス。すべてのセカンダリバーチャル IP アドレスは、1 行ごとに表示されます。バーチャル IP アドレスが別のデバイスに設定されたアドレスと重複している場合、duplicate としてマークされます。重複アドレスは、ルータが ARP キャッシュ エントリの保護に失敗したことを示します。
Hello time, hold time	hello タイムを示す hello パケットの間隔 (秒またはミリ秒単位)。ホールド タイムは、他のルータがアクティブ ルータのダウンを宣言するまでの時間です (秒またはミリ秒単位)。GLBP グループのすべてのルータは現在の AVG の hello タイム値とホールド タイム値を使用します。ローカルに設定された値が異なる場合、設定された値が hello タイム値とホールド タイム値の後ろのカッコ内に表示されます。

表 2 show glbp フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Redirect time, forwarder time-out	スタンバイ バーチャル フォワーダへの AVF 移行のリダイレクトおよびタイムアウト時間。リダイレクト時間は、GLBP グループの AVG がクライアントをセカンダリ AVF にリダイレクトし続ける時間です。タイムアウトは、セカンダリ バーチャル フォワーダが使用できなくなるまでの時間です (秒単位)。
Preemption	GLBP ゲートウェイのプリエンプトがイネーブルであるかどうか。イネーブルの場合、最小遅延は、低プライオリティのアクティブ ルータをプリエンプトするまで、高プライオリティの非アクティブ ルータが待つ時間です (秒単位)。 このフィールドも、GLBP フォワーダのプリエンプトを示すフォワーダ セクションの下に表示されます。
Active is	バーチャル ゲートウェイの Active ステート。値は local、unknown、または IP address です。アドレス (およびアドレスの有効期限) は、現在の AVG のアドレスです。 このフィールドも、現在の AVF のアドレスを示すフォワーダ セクションの下に表示されます。
Standby is	バーチャル ゲートウェイの Standby ステート。値は local、unknown、または IP address です。アドレス (およびアドレスの有効期限) は、スタンバイ ゲートウェイのアドレスです (ゲートウェイは次に AVG になります)。
Weighting	高いしきい値と低いしきい値のある初期重み値
Track object	トラッキングされるオブジェクトのリストと対応するステート
Load balancing	GLBP グループに設定されたロード バランシング方式
Group members	このグループのメンバーであるゲートウェイのリスト
Forwarder	このグループのフォワーダのリスト

表 3 に、*show glbp brief* コマンドの出力について説明します。

表 3 show glbp brief フィールドの説明

フィールド	説明
Interface	インターフェイスのタイプと番号 インターフェイスの GLBP グループ番号
Grp	インターフェイスの GLBP グループ番号
Fwd	GLBP グループのフォワーダの数
Pri	このゲートウェイに設定されたプライオリティ

表 3 show glbp brief フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
State is	<p>バーチャル ゲートウェイのステート。バーチャル ゲートウェイの場合、ステートは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Active — ゲートウェイは AVG で、バーチャル IP アドレスの Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 要求に応答します。 • Disabled — バーチャル IP アドレスはまだ設定されていない、または学習されていませんが、別の GLBP 設定が存在します。 • Initial — バーチャル IP アドレスは設定されている、または学習されていますが、バーチャル ゲートウェイの設定が完全ではありません。インターフェイスはアップ状態で、ルート IP に設定されている必要があります。インターフェイス IP アドレスが設定されている必要があります。 • Listen — バーチャル ゲートウェイは hello パケットを受信し、アクティブまたはスタンバイ バーチャル ゲートウェイが使用できなくなった場合に Speak ステートに変更できます。 • Speak — バーチャル ゲートウェイはアクティブまたはスタンバイ バーチャル ゲートウェイになろうとします。 • Standby — ゲートウェイは次に AVG になります。 <p>バーチャル フォワーダの場合、ステートは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Active — ゲートウェイは AVG で、バーチャル フォワーダの Media Access Control (MAC; メディア アクセス制御) アドレスに送信されたパケットを転送します。 • Disabled — 仮想 MAC アドレスが割り当てられていないか、学習されていません。Disabled ステートに変更したバーチャル フォワーダは削除されるので、このステートは移行ステートになります。 • Initial — 仮想 MAC アドレスは既知ですが、バーチャル フォワーダの設定は完全ではありません。インターフェイスはアップ状態で、ルート IP に設定されている必要があります。インターフェイス IP アドレスは設定されている必要があります。バーチャル IP アドレスは既知でなければいけません。 • Listen — バーチャル フォワーダは hello パケットを受信し、AVF が使用できなくなった場合に Active ステートに変更できます。
Address	GLBP グループのバーチャル IP アドレス。すべてのセカンダリバーチャル IP アドレスは、1 行ごとに表示されます。バーチャル IP アドレスが別のデバイスに設定されたアドレスと重複している場合、 duplicate としてマークされます。重複アドレスは、ルータが ARP キャッシュ エントリの保護に失敗したことを示します。
Active router	AVG の IP アドレス
Standby router	スタンバイ バーチャル ゲートウェイの IP アドレス

関連コマンド

コマンド	説明
glbp ip	GLBP をイネーブルにします。
glbp timers	hello メッセージの間隔と、他のルータによってアクティブ GLBP ルータのダウンが宣言されるまでの時間を設定します。
glbp weighting track	GLBP ゲートウェイの重みに影響し、トラッキングするオブジェクトを指定します。

show glbp capability

Gateway Load Balancing Protocol (GLBP) をサポートするインターフェイスを表示するには、**show glbp capability** コマンドを使用します。

```
show glbp [interface type number] [port-channel number] [vlan number]
```

シンタックスの説明

<i>interface type number</i>	(任意) 出力が表示されるインターフェイスを指定します。
<i>port-channel number</i>	(任意) 出力が表示されるポート チャンネルを指定します。
<i>vlan number</i>	(任意) 出力が表示される VLAN (仮想 LAN)

コマンドモード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

GLBP をサポートするインターフェイスを表示するには、**show glbp capability** コマンドを使用します。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次に、GLBP をサポートするインターフェイスを表示する例を示します。

```
switch# show glbp capability
Nexus7010 (10 Slot) Chassis * means interface may support GLBP
Interface                               Type | Potential Max Groups
Eth1/1 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth1/2 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/1 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/2 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/3 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/4 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/5 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/6 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/7 2 Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/8 2 Gigabit Ethernet * 1024
mgmt0 5 Management Sup Port 0
Eth Inband Port 21 Inband Port 0
Eth Inband Port 21 Inband Port 0
Eth Inband Port 21 Inband Port 0
```

表 4 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 4 show glbp capability フィールドの説明

フィールド	説明
Interface	インターフェイス名
Type	インターフェイス タイプ
GLBP support (文字で表示)	* は、インターフェイスが GLBP をサポートすることを示します。
Potential Max Groups	このインターフェイスによってサポートされるグループの最大数

関連コマンド

コマンド	説明
glbp ip	GLBP をイネーブルにします。
glbp timers	hello メッセージの間隔と、他のルータによってアクティブ GLBP ルータのダウンが宣言されるまでの時間を設定します。
glbp weighting track	GLBP ゲートウェイの重みに影響し、トラッキングするオブジェクトを指定します。

show glbp capability

Gateway Load Balancing Protocol (GLBP) をサポートするインターフェイスを表示するには、**show glbp capability** コマンドを使用します。

```
show glbp [interface type number] [port-channel number] [vlan number]
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<i>interface type number</i>	(任意) 出力が表示されるインターフェイスを指定します。
	<i>port-channel number</i>	(任意) 出力が表示されるポート チャンネルを指定します。
	<i>vlan number</i>	(任意) 出力が表示される VLAN (仮想 LAN)

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン GLBP をサポートするインターフェイスを表示するには、**show glbp capability** コマンドを使用します。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次に、GLBP をサポートするインターフェイスを表示する例を示します。

```
switch# show glbp capability
Nexus 7010 (10 Slot) Chassis * means interface may support GLBP
|
Interface                               Type | Potential Max Groups
Eth1/1  2  Gigabit Ethernet * 1024
Eth1/2  2  Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/1  2  Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/2  2  Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/3  2  Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/4  2  Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/5  2  Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/6  2  Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/7  2  Gigabit Ethernet * 1024
Eth2/8  2  Gigabit Ethernet * 1024
mgmt0   5  Management Sup Port  0
Eth Inband Port 21      Inband Port  0
Eth Inband Port 21      Inband Port  0
Eth Inband Port 21      Inband Port  0
```

表 5 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 5 show glbp capability フィールドの説明

フィールド	説明
Interface	インターフェイス名
Type	インターフェイス タイプ
GLBP support (文字で表示)	* は、インターフェイスが GLBP をサポートすることを示します。
Potential Max Groups	このインターフェイスによってサポートされるグループの最大数

関連コマンド

コマンド	説明
glbp ip	GLBP をイネーブルにします。
glbp timers	hello メッセージの間隔と、他のルータによってアクティブ GLBP ルータのダウンが宣言されるまでの時間を設定します。
glbp weighting track	GLBP ゲートウェイの重みに影響し、トラッキングするオブジェクトを指定します。

show hsrp

Hot Standby Router Protocol (HSRP; ホットスタンバイ ルータ プロトコル) グループごとの HSRP 情報を表示するには、**show hsrp** コマンドを使用します。

```
show hsrp [interface type number] [group group-number] [active | init | listen | standby] [all] [brief]
```

シンタックスの説明	
interface <i>type number</i>	(任意) HSRP 情報を表示するインターフェイス タイプおよび番号を指定します。
group <i>group-number</i>	(任意) 情報を表示するインターフェイスの HSRP グループ番号を指定します
active	(任意) Active ステートである HSRP グループを表示します。
init	(任意) Initialization ステートである HSRP グループを表示します。
listen	(任意) Listen ステートである HSRP グループを表示します。
standby	(任意) Standby ステートである HSRP グループを表示します。
all	(任意) すべての HSRP グループを表示します。
brief	(任意) 1 行の出力で各バーチャル ゲートウェイまたはバーチャル フォワーダを要約します。

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン HSRP グループに関する情報を表示するには、**show hsrp** コマンドを使用します。**brief** キーワードは、各バーチャル ゲートウェイまたはバーチャル フォワーダに関する情報を 1 行で表示します。
このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次に、GLBP 情報を表示する例を示します。

```
switch# show hsrp

show hsrp
Ethernet0/0/1 - Group 1
State is Init (standby RP, peer state is Active)
Virtual IP address is 10.1.0.7
Active virtual MAC address is unknown
Local virtual MAC address is 000a.f3fd.5001 (bia)
Hello time 1 sec, hold time 3 sec
Authentication text "authword"
Preemption enabled
Active router is unknown
Standby router is unknown
Priority 110 (configured 120)
Track object 1 state Down decrement 10
IP redundancy name is "name1" (cfgd)
```

次に、GLBP 情報の簡単な説明を表示する例を示します。

```
switch# show hsrp brief

P indicates configured to preempt.
|
Interface Grp Prio P State Active addr Standby addr Group addr
Et1 1 105 P Active local 192.168.21.2 192.168.21.10
```

次に、GLBP インターフェイスおよびグループ番号を指定する例を示します。

```
switch# show glbp interface ethernet2/2 group 1

Ethernet2/2 - Group 1
State is Listen
 64 state changes, last state change 00:00:54
Virtual IP address is 10.1.0.7
Hello time 50 msec, hold time 200 msec
  Next hello sent in 0.030 secs
Redirect time 600 sec, forwarder time-out 14400 sec
Authentication text "authword"
Preemption enabled, min delay 0 sec
Active is 10.1.0.2, priority 105 (expires in 0.184 sec)
Standby is 10.1.0.3, priority 100 (expires in 0.176 sec)
Priority 96 (configured)
Weighting 100 (configured 100), thresholds: lower 95, upper 100
  Track object 1 state Up decrement 10
Load balancing: round-robin
Group members:
 0004.4d83.4801 (10.0.0.0)
 0010.7b5a.fa41 (10.0.0.1)
 00d0.bbd3.bc21 (10.0.0.2) local
```

表 6 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 6 show glbp フィールドの説明

フィールド	説明
Ethernet2/1 - Group	インターフェイス タイプおよびインターフェイスの GLBP グループ番号
State is	<p>バーチャル ゲートウェイのステート。バーチャル ゲートウェイの場合、ステートは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Active — ゲートウェイはアクティブ バーチャル ゲートウェイ (AVG) で、バーチャル IP アドレスの Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 要求に応答します。 • Disabled — バーチャル IP アドレスはまだ設定されていない、または学習されていませんが、別の GLBP 設定が存在します。 • Initial — バーチャル IP アドレスは設定されている、または学習されていますが、バーチャル ゲートウェイの設定が完全ではありません。インターフェイスはアップ状態で、ルート IP に設定されている必要があります。インターフェイス IP アドレスが設定されている必要があります。 • Listen — バーチャル ゲートウェイは hello パケットを受信し、アクティブまたはスタンバイ バーチャル ゲートウェイが使用できなくなった場合に Speak ステートに変更できます。 • Speak — バーチャル ゲートウェイはアクティブまたはスタンバイ バーチャル ゲートウェイになろうとします。 • Standby — ゲートウェイは AVG になるラインの次です。 <p>バーチャル フォワーダの場合、ステートは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Active — ゲートウェイは AVG で、バーチャル フォワーダの Media Access Control (MAC; メディア アクセス制御) アドレスに送信されたパケットを転送します。 • Disabled — 仮想 MAC アドレスが割り当てられていないか、学習されていません。Disabled ステートに変更したバーチャル フォワーダは削除されるので、このステートは移行ステートになります。 • Initial — 仮想 MAC アドレスは既知ですが、バーチャル フォワーダの設定は完全ではありません。インターフェイスはアップ状態で、ルート IP に設定されている必要があります。インターフェイス IP アドレスは設定されている必要があります。バーチャル IP アドレスは既知でなければいけません。 • Listen — バーチャル フォワーダは hello パケットを受信し、AVF が使用できなくなった場合に Active ステートに変更できます。
Virtual IP address is	GLBP グループのバーチャル IP アドレス。すべてのセカンダリバーチャル IP アドレスは、1 行ごとに表示されます。バーチャル IP アドレスが別のデバイスに設定されたアドレスと重複している場合、duplicate としてマークされます。重複アドレスは、ルータが ARP キャッシュ エントリの保護に失敗したことを示します。
Hello time, hold time	hello タイムを示す hello パケットの間隔 (秒またはミリ秒単位)。ホールド タイムは、他のルータがアクティブ ルータのダウンを宣言するまでの時間です (秒またはミリ秒単位)。GLBP グループのすべてのルータは現在の AVG の hello タイム値とホールド タイム値を使用します。ローカルに設定された値が異なる場合、設定された値が hello タイム値とホールド タイム値の後ろのカッコ内に表示されます。

表 6 show glbp フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Redirect time, forwarder time-out	スタンバイ バーチャル フォワーダへの AVF 移行のリダイレクトおよびタイムアウト時間。リダイレクト時間は、GLBP グループの AVG がクライアントをセカンダリ AVF にリダイレクトし続ける時間です。タイムアウトは、セカンダリ バーチャル フォワーダが使用できなくなるまでの時間です (秒単位)。
Preemption	GLBP ゲートウェイのプリエンプトがイネーブルであるかどうか。イネーブルの場合、最小遅延は、低プライオリティのアクティブ ルータをプリエンプトするまで、高プライオリティの非アクティブ ルータが待つ時間です (秒単位)。 このフィールドも、GLBP フォワーダのプリエンプトを示すフォワーダ セクションの下に表示されます。
Active is	バーチャル ゲートウェイの Active ステート。値は local、unknown、または IP address です。アドレス (およびアドレスの有効期限) は、現在の AVG のアドレスです。 このフィールドも、現在の AVF のアドレスを示すフォワーダ セクションの下に表示されます。
Standby is	バーチャル ゲートウェイの Standby ステート。値は local、unknown、または IP address です。アドレス (およびアドレスの有効期限) は、スタンバイ ゲートウェイのアドレスです (ゲートウェイは次に AVG になります)。
Weighting	高いしきい値と低いしきい値のある初期重み値
Track object	トラッキングされるオブジェクトのリストと対応するステート
Load balancing	GLBP グループに設定されたロード バランシング方式
Group members	このグループのメンバーであるゲートウェイのリスト
Forwarder	このグループのフォワーダのリスト

表 7 に、*show glbp brief* コマンドの出力について説明します。

表 7 show glbp brief フィールドの説明

フィールド	説明
Interface	インターフェイスのタイプと番号 インターフェイスの GLBP グループ番号
Grp	インターフェイスの GLBP グループ番号
Fwd	GLBP グループのフォワーダの数
Pri	このゲートウェイに設定されたプライオリティ

表 7 show glbp brief フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
State is	<p>バーチャル ゲートウェイのステート。バーチャル ゲートウェイの場合、ステートは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Active — ゲートウェイは AVG で、バーチャル IP アドレスの Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 要求に応答します。 • Disabled — バーチャル IP アドレスはまだ設定されていない、または学習されていませんが、別の GLBP 設定が存在します。 • Initial — バーチャル IP アドレスは設定されている、または学習されていますが、バーチャル ゲートウェイの設定が完全ではありません。インターフェイスはアップ状態で、ルート IP に設定されている必要があります。インターフェイス IP アドレスが設定されている必要があります。 • Listen — バーチャル ゲートウェイは hello パケットを受信し、アクティブまたはスタンバイ バーチャル ゲートウェイが使用できなくなった場合に Speak ステートに変更できます。 • Speak — バーチャル ゲートウェイはアクティブまたはスタンバイ バーチャル ゲートウェイになろうとします。 • Standby — ゲートウェイは AVG になるラインの次です。 <p>バーチャル フォワーダの場合、ステートは次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Active — ゲートウェイは AVG で、バーチャル フォワーダの Media Access Control (MAC; メディア アクセス制御) アドレスに送信されたパケットを転送します。 • Disabled — 仮想 MAC アドレスが割り当てられていないか、学習されていません。Disabled ステートに変更したバーチャル フォワーダは削除されるので、このステートは移行ステートになります。 • Initial — 仮想 MAC アドレスは既知ですが、バーチャル フォワーダの設定は完全ではありません。インターフェイスはアップ状態で、ルート IP に設定されている必要があります。インターフェイス IP アドレスは設定されている必要があります。バーチャル IP アドレスは既知でなければいけません。 • Listen — バーチャル フォワーダは hello パケットを受信し、AVF が使用できなくなった場合に Active ステートに変更できます。
Address	GLBP グループのバーチャル IP アドレス。すべてのセカンダリバーチャル IP アドレスは、1 行ごとに表示されます。バーチャル IP アドレスが別のデバイスに設定されたアドレスと重複している場合、duplicate としてマークされます。重複アドレスは、ルータが ARP キャッシュ エントリの保護に失敗したことを示します。
Active router	AVG の IP アドレス
Standby router	スタンバイ バーチャル ゲートウェイの IP アドレス

関連コマンド

コマンド	説明
glbp ip	GLBP をイネーブルにします。
glbp timers	hello メッセージの間隔と、他のルータによってアクティブ GLBP ルータのダウンが宣言されるまでの時間を設定します。
glbp weighting track	GLBP ゲートウェイの重みに影響し、トラッキングするオブジェクトを指定します。

show hardware forwarding ip verify

IP パケット検証に関する情報を表示するには、**show hardware forwarding ip verify** コマンドを使用します。

show hardware version ip verify

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、IP パケット検証の設定を示します。

```
switch# show hardware forwarding ip verify
IPv4 and v6 IDS Checks      Status      Packets Failed
-----+-----+-----
address source broadcast    Enabled     0
address source multicast    Enabled     0
address destination zero    Enabled     0
address identical           Enabled     0
address source reserved     Enabled     0
address class-e             Disabled    0
checksum                    Enabled     0
protocol                     Enabled     0
fragment                     Enabled     0
length minimum              Enabled     0
length consistent           Enabled     0
length maximum max-frag     Enabled     0
length maximum udp          Disabled    0
length maximum max-tcp     Enabled     0
tcp flags                    Disabled    0
tcp tiny-frag               Enabled     0
version                      Enabled     0
-----+-----+-----
IPv6 IDS Checks             Status      Packets Failed
-----+-----+-----
length consistent           Enabled     0
length maximum max-frag     Enabled     0
length maximum udp          Disabled    0
length maximum max-tcp     Enabled     0
tcp tiny-frag               Enabled     0
version                      Enabled     0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>platform ip verify address</code>	アドレスに基づいて、IPv4 および IPv6 パケット検証チェックを設定します。
	<code>platform ip verify length</code>	長さに基づいて、IPv4 パケット検証チェックを設定します。
	<code>platform ipv6 verify</code>	IPv6 パケット検証チェックを設定します。

show hsrp delay

Hot Standby Router Protocol (HSRP; ホットスタンバイ ルータ プロトコル) グループの遅延情報を表示するには、`show hsrp delay` コマンドを使用します。

```
show hsrp delay [interface type number] [group group-number] [all] [brief]
```

シンタックスの説明	interface type number	説明
		(任意) HSRP 情報を表示するインターフェイス タイプおよび番号を指定します。
	<code>group group-number</code>	(任意) 情報を表示するインターフェイスの HSRP グループ番号を指定します

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール スーパーユーザ
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン HSRP グループの遅延情報を表示するには、`show hsrp delay` コマンドを使用します。
このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次に、GLBP 遅延情報を表示する例を示します。

```
switch# show hsrp delay
```

show ip adjacency

隣接情報を表示するには、**show ip adjacency** コマンドを使用します。

```
show ip adjacency [ip-addr | interface] [detail] [non-best] [statistics] [summary] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明

<i>ip-addr</i>	(任意) IPv4 送信元アドレス。フォーマットは、x.x.x.x です。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス。サポートされたインターフェイス タイプを判断するには ? を使用します。
detail	(任意) 詳細な隣接情報を表示します。
non-best	(任意) 最適な、および最適でない隣接情報を表示します。
statistics	(任意) 隣接統計情報を表示します。
summary	(任意) 隣接情報のサマリーを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、隣接情報のサマリーを示します。

```
switch# show ip adjacency summary

IP AM Table - Adjacency Summary

  Static   : 1
  Dynamic  : 22
  Others   : 0
  Total    : 23
```

関連コマンド

コマンド	説明
show forwarding adjacency	転送隣接情報を示します。

show ip arp

Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 情報を表示するには、**show ip arp** コマンドを使用します。

```
show ip arp [ip-addr | interface] [client] [static] [statistics] [summary] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>ip-addr</i>	(任意) IPv4 送信元アドレス。フォーマットは、x.x.x.x です。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス。サポートされたインターフェイス タイプを判断するには ? を使用します。
<i>client</i>	(任意) ARP クライアント テーブルを表示します。
<i>static</i>	(任意) スタティック ARP エントリを表示します。
<i>statistics</i>	(任意) ARP 統計情報を表示します。
<i>summary</i>	(任意) ARP テーブルのサマリーを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、ARP テーブルのサマリーを示します。

```
switch# show ip arp summary

IP ARP Table - Adjacency Summary

  Resolved   : 33
  Incomplete : 0
  Unknown    : 0
  Total      : 33
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ip arp timeout	ARP を設定します。

show ip as-path-access-list

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) の AS パス アクセス リストを表示するには、**show ip as-path-access-list** コマンドを使用します。

```
show ip as-path-access-list [name]
```

シンタックスの説明	<i>name</i>	(任意) AS パス アクセス リストの名前。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
------------------	-------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
----------------------	---

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

例	次の例では、AS パス アクセス リストを示します。
----------	----------------------------

```
switch# show ip as-path-access-list
ip as-path access-list Test1 permit "10.0.0.1"
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ip as-path access-list	AS パス アクセス リストを設定します。

show ip bgp

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) テーブルのエントリを表示するには、**show ip bgp** コマンドを使用します。

```
show ip bgp [ip-addr | ip-prefix [longer-prefixes]] [received-paths] [regex expression] [route-map
map-name] [summary] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>ip-addr</i>	(任意) BGP ルート テーブルからのネットワーク。フォーマットは、x.x.x.x です。
<i>ip-prefix</i>	(任意) BGP ルート テーブルからのプレフィクス。フォーマットは、x.x.x.x/length です。
longer-prefixes	(任意) プレフィクスと特定のルートを示します。
received-paths	(任意) ソフトリコンフィギュレーション用に保存されたパスを表示します。
regex <i>expression</i>	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
route-map <i>map-name</i>	(任意) ルートマップと一致するルートを表示します。マップ名は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
summary	(任意) ルートのサマリーを表示します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、BGP ルート テーブルを示します。

```
switch(config-router)# show ip bgp
BGP routing table information for VRF default, address family IPv4 Unicast
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear ip bgp	BGP ルート テーブルのエントリをクリアします。

show ip bgp community-list

コミュニティ リストと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ip bgp community-list** コマンドを使用します。

```
show ip bgp [ipv4 {unicast | multicast} | all] community-list commlist-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明

ipv4	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を示します。
ipv6	(任意) IPv6 アドレス ファミリの BGP 情報を示します。
unicast	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を示します。
multicast	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を示します。
all	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を示します。
community-list <i>commlist-name</i>	コミュニティ リストと一致するルートを表示します。 <i>commlist-name</i> は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
exact-match	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、コミュニティ リストと一致するルートを示します。

```
switch(config)# show ip bgp community-list test1
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip community-list	コミュニティ リストを作成します。

show ip bgp dampening

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ダンプニング情報を表示するには、**show ip bgp dampening** コマンドを使用します。

```
show ip bgp [ipv4 {unicast | multicast} | all] dampening {dampened-paths [regex expression] |
flap-statistics | history-paths [regex expression] | parameters} [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明

ipv4	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を示します。
ipv6	(任意) IPv6 アドレス ファミリの BGP 情報を示します。
unicast	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を示します。
multicast	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を示します。
all	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を示します。
dampened-paths	ダンプニングされたパスをすべて表示します。
regex expression	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
flap-statistics	ルートの統計情報を表示します。
history-paths	履歴パスをすべて表示します。
parameters	ダンプニング パラメータをすべて表示します。
vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、ダンプニング情報を示します。

```
switch(config)# show ip bgp dampening dampened-paths
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ipv6 bgp dampening	BGP ダンプニング情報を表示します。

show ip bgp filter-list

フィルタ リストと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ip bgp filter-list** コマンドを使用します。

```
show ip bgp filter-list list-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	<i>list-name</i>	フィルタ リストの名前。comm-list-name は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
	exact-match	(任意) フィルタの完全一致を表示します。
	vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、フィルタ リストと一致するルートを示します。

```
switch(config)# show ip bgp filter-list test1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 bgp filter-list	フィルタ リストと一致する BGP ルートを表示します。

show ip bgp flap-statistics

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) フラップ統計情報を表示するには、**show ip bgp flap-statistics** コマンドを使用します。

```
show ip bgp flap-statistics [prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>prefix</i>	(任意) IPv6 プレフィクス。フォーマットは、x.x.x.x/length です。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
---------	------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
---------------	---

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
------------	------------------------

例	次の例では、フラップ統計情報を示します。 switch(config)# show ip bgp flap-statistics
---	--

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 bgp	BGP 情報を表示します。

show ip bgp history-paths

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) 履歴パスを表示するには、**show ip bgp history-paths** コマンドを使用します。

```
show ip bgp [ipv4 {unicast | multicast} | all] history-paths [regex expression] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
ipv4	(任意) IPv4 アドレス ファミリの BGP 情報を示します。
ipv6	(任意) IPv6 アドレス ファミリの BGP 情報を示します。
unicast	ユニキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を示します。
multicast	マルチキャスト アドレス ファミリの BGP 情報を示します。
all	(任意) すべてのアドレス ファミリの BGP 情報を示します。
regex expression	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール ネットワーク 管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、BGP 履歴パス情報を示します。

```
switch(config)# show ip bgp history-paths
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 bgp history-paths	BGP 履歴パス情報を表示します。

show ip bgp neighbors

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネイバーを表示するには、**show ip bgp neighbors** コマンドを使用します。

```
show ip bgp neighbors [ addr | prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>addr</i>	IPv4 アドレス。フォーマットは、x.x.x.x です。
<i>prefix</i>	(任意) IPv6 プレフィクス。フォーマットは、x.x.x.x/length です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール ネットワーク 管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、BGP ネイバーを示します。

```
switch(config)# show ip bgp neighbors
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 bgp neighbors	BGP 情報を表示します。

show ip bgp nexthop

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクストホップ情報を表示するには、**show ip bgp nexthop** コマンドを使用します。

```
show ip bgp nexthop addr [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	addr IPv4 アドレス。フォーマットは、x.x.x.x です。				
	vrf vrf-name (任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	任意のコマンドモード				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>4.0(1)</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。				
例	次の例では、BGP ネクストホップ情報を示します。 <pre>switch(config)# show ip bgp nexthop 192.0.2.1</pre>				
関連コマンド	<table><thead><tr><th>コマンド</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>show ipv6 bgp nexthop</td><td>BGP 情報を表示します。</td></tr></tbody></table>	コマンド	説明	show ipv6 bgp nexthop	BGP 情報を表示します。
コマンド	説明				
show ipv6 bgp nexthop	BGP 情報を表示します。				

show ip bgp nexthop-database

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクストホップ データベースを表示するには、**show ip bgp nexthop-database** コマンドを使用します。

```
show ip bgp nexthop-database [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	vrf vrf-name (任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
------------------	---

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
----------------------	---

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

例	次の例では、BGP ネクストホップ データベースを示します。 switch(config)# show ip bgp nexthop-database
----------	---

関連コマンド	コマンド 説明
	show ipv6 bgp nexthop-database BGP 情報を表示します。

show ip bgp prefix-list

プレフィクスリストと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ip bgp prefix-list** コマンドを使用します。

```
show ip bgp prefix-list list-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	<i>list-name</i>	プレフィクスリストの名前。commlist-name は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
	exact-match	(任意) フィルタの完全一致を表示します。
	vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、プレフィクスリストと一致するルートを示します。

```
switch(config)# show ip bgp prefix-list test1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 bgp prefix-list	プレフィクスリストと一致する BGP ルートを表示します。

show ip bgp peer-policy

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ピア ポリシー テンプレート情報を表示するには、**show ip bgp peer-policy** コマンドを使用します。

show ip bgp peer-policy name

シンタックスの説明	<i>name</i>	BGP テンプレートの名前。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
------------------	-------------	---

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、BGP ピア ポリシーを示します。

```
switch(config)# show ip bgp peer-policy test1
Commands configured in this template:
  Send Community
  Suppress Inactive
  Default Originate - route-map:
Inherited commands:
Inherited by the following peers:
  VRF default: 192.0.2.3
```

関連コマンド	コマンド	説明
	inherit peer-policy	ネイバーのピア ポリシー テンプレートを継承します。
	template peer-policy	ピア ポリシー テンプレートを設定します。

show ip bgp peer-session

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ピア セッション テンプレート 情報を表示するには、**show ip bgp peer-session** コマンドを使用します。

show ip bgp peer-session name

シンタックスの説明	<i>name</i>	BGP テンプレートの名前。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
------------------	-------------	---

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、BGP ピア セッションを示します。

```
switch(config)# show ip bgp peer-session test1
Commands configured in this template:
  Update Source - interface: Vlan33
  EBGp Multihop - hop limit: 33
Inherited commands:
Inherited by the following peers:
  VRF default: 192.0.2.3
```

関連コマンド	コマンド	説明
	inherit peer-session	ネイバーのピアセッションテンプレートを継承します。
	template peer-session	ピアセッションテンプレートを設定します。

show ip bgp peer-template

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ピア テンプレート情報を表示するには、**show ip bgp peer-template** コマンドを使用します。

show ip bgp peer-template name

シンタックスの説明	<i>name</i>	BGP テンプレートの名前。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
------------------	-------------	---

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、BGP ピア テンプレートを示します。

```
switch(config)# show ip bgp peer-template peer1
BGP peer-template is peer1
  Connected check is disabled
  Hold time = 0, keepalive interval is 0 seconds
```

```
Message statistics:
                Sent                Rcvd
Opens:                0                0
Notifications:      0                0
Updates:             0                0
Keepalives:         0                0
Route Refresh:      0                0
Capability:         0                0
Total:              0                0
Total bytes:        0                0
Bytes in queue:     0                0
```

```
Members of peer-template peer1:
default:192.0.2.3
```

関連コマンド	コマンド	説明
	inherit peer-template	ネイバーのピア テンプレートを継承します。
	template peer	ピア テンプレートを設定します。

show ip client

内部 IP クライアントに関する情報を表示するには、**show ip client** コマンドを使用します。

show ip client [*name*]

シンタックスの説明

name (任意) クライアントの名前

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、ARP の IP クライアント情報を示します。

```
switch(config)# show ip client arp

Client: arp, uuid: 268, pid: 3687, extended pid: 3687
  Protocol: (none), client-index: 2, routing VRF id: 255
  Data MTS-SAP: 0
  Data messages, send successful: 33, failed: 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip process	IP プロセスに関する情報を表示します。

show ip community-list

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のコミュニティ リストを表示するには、**show ip community-list** コマンドを使用します。

```
show ip community-list [name]
```

シンタックスの説明	<i>name</i> (任意) コミュニティ リストの名前。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
------------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンド モード	任意のコマンド モード
-----------------	-------------

サポートされるユーザ ロール	ネットワーク 管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
-----------------------	--

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

例	次の例では、コミュニティ リストを示します。
----------	------------------------

```
switch(config)# show ip community-list
Standard Community List test2
    permit internet local-AS
```

関連コマンド	コマンド 説明
	ip community-list BGP コミュニティ リストを設定します。

show ip eigrp

Enhanced IGRP (EIGRP) プロセスのサマリーを表示するには、**show ip eigrp** コマンドを使用します。

show ip eigrp [*instance-tag*]

シンタックスの説明	<i>instance-tag</i> (任意) インスタンス タグ。インスタンス タグは、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
------------------	---

デフォルト	なし
--------------	----

コマンド モード	任意
-----------------	----

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
----------------------	----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。
-------------------	--

例	次の例では、すべての EIGRP インスタンスを示します。
----------	-------------------------------

```
switch# show ip eigrp
IP-EIGRP AS 0 ID 0.0.0.0 VRF default
  Process-tag: Test1
  Status: shutdown
  Authentication mode: none
  Authentication key-chain: none
  Metric weights: K1=1 K2=0 K3=1 K4=0 K5=0
  IP proto: 88 Multicast group: 224.0.0.10
  Int distance: 90 Ext distance: 170
  Max paths: 8
  Number of EIGRP interfaces: 0 (0 loopbacks)
  Number of EIGRP peers: 0
IP-EIGRP AS 0 ID 0.0.0.0 VRF default
  Process-tag: Test2
  Status: shutdown
  Authentication mode: none
  Authentication key-chain: none
  Metric weights: K1=1 K2=0 K3=1 K4=0 K5=0
  IP proto: 88 Multicast group: 224.0.0.10
  Int distance: 90 Ext distance: 170
  Max paths: 8
  Number of EIGRP interfaces: 0 (0 loopbacks)
  Number of EIGRP peers: 0
```

show ip eigrp accounting

Enhanced IGRP (EIGRP) プロセスのプレフィクス アカウンティング情報を表示するには、**show ip eigrp accounting** コマンドを使用します。

show ip eigrp [vrf {vrf-name | *}][instance-tag] accounting

シンタックスの説明	
vrf vrf-name	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
vrf *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
instance-tag	(任意) インスタンス タグ。このオプションは、VRF インスタンスが指定されていない場合に使用できます。インスタンス タグは、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、EIGRP アカウンティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp accounting

IP-EIGRP accounting for AS(100)/ID(192.0.2.1) vrf RED
Total Prefix Count: 4
States: A-Adjacency, P-Pending, D-Down

State Address/Source   Interface      Prefix   Restart   Restart/
Count                Count          Count    Count     Reset (s)
-----
P   Redistributed       ----          0         3         211
A   192.0.2.2           e2/1          2         0          84
P   192.0.2.4           e3/3          0         2         114
D   192.0.2.3           e4/1          0         3           0
```

表 8 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 8 show ip eigrp accounting フィールドの説明

フィールド	説明
IP-EIGRP accounting for AS...	EIGRP インスタンス、AS 番号、ルータ ID、および ID
Total Prefix Count:	EIGRP インスタンス トポロジテーブル内のプレフィックスを合計します。カウントには、すべてのネイバーまたは再配布から学習したプレフィックスが含まれます。
States:A-Adjacency, P-Pending, D-Down	<p>A-Adjacency : ネイバーまたは通常の再配布ステータスが安定した隣接関係であることを示します。</p> <p>P-Pending : 最大プレフィックスの制限を超えたので、ネイバールータとの隣接関係または再配布は中断されるか、penalized ステータスになります。</p> <p>D-Down : clear route コマンドを使用して手動でリセットするまで、ネイバールータとの隣接関係または再配布は永続的に中断されません。</p>
Address/Source	再配布送信元のピア IP アドレス
Prefix Count	送信元が学習したプレフィックスの総数
	 <p>(注) 複数の送信元からの同じプレフィックスについて、ルートを学習できます。このカラムのすべてのプレフィックスカウントの合計は、「Prefix Count」フィールドで示す数より大きくなる場合があります。</p>
Restart Count	ルート送信元が最大プレフィックス制限を超えた回数
Restart Reset(s)	ルート送信元が P (penalized) ステータスである時間 (秒単位)。ルート送信元が A (安定または通常の) ステータスである場合、表示された時間は penalization 履歴がリセットされるまでの時間になります (秒単位)。

show ip eigrp interfaces

Enhanced IGRP (EIGRP) に設定されたインターフェイスに関する情報を表示するには、**show ip eigrp interfaces** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] [vrf {vrf-name | *}] interfaces [type instance] [brief] [detail]
```

シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグは、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
vrf *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
<i>instance</i>	(任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス。 <i>instance</i> を指定すると、ネイバーテーブルからこのインターフェイスを介して学習されたエントリをすべて削除します。 <i>instance</i> 引数の構文は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 物理インターフェイス インスタンス。名前の表記は <i>slot/port</i> で、値の間のスラッシュ記号は表記の一部として必要です。 仮想インターフェイス インスタンス。番号の範囲はインターフェイス タイプによって異なります。 ルータ構文の詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
brief	(任意) EIGRP インターフェイス情報の簡単な説明を表示します。
detail	(任意) 詳細な EIGRP インターフェイス情報を表示します。

デフォルト

VRF またはインターフェイスが指定されていない場合、このコマンドはデフォルトの VRF のすべてのインターフェイスを表示します。

コマンド モード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。
4.0(3)	brief キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン

どのインターフェイス EIGRP がアクティブであり、インターフェイスに関連した EIGRP の情報を学習するかを決定するには、**show ip eigrp interfaces** コマンドを使用します。

インターフェイスを指定すると、そのインターフェイスのみが表示されます。指定しないと、EIGRP が稼働するすべてのインターフェイスが表示されます。

Autonomous System (AS; 自律システム) を指定すると、指定された AS のルーティング システムのみが表示されます。指定しないと、すべての EIGRP プロセスが表示されます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、EIGRP インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp interfaces

IP EIGRP interfaces for process 1 vrf default

Interface          Peers      Xmit Queue   Mean   Pacing Time   Multicast   Pending
                   Un/Reliable SRTT    Un/Reliable   Flow Timer  Routes
-----
e2/2                0          0/0         0      11/434        0          0
e2/20               1          0/0        337    0/10         0          0
e4/2                1          0/0        10     1/63        103         0
e3/2                1          0/0        330    0/16         0          0

switch#
```

表 9 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 9 show ip eigrp interfaces フィールドの説明

フィールド	説明
Interface	EIGRP が設定されているインターフェイス
Peers	直接接続された EIGRP ネイバーの数
Xmit Queue Un/Reliable	信頼できない、または信頼できる送信キューにあるパケットの数
Mean SRTT	平均 smoothed round-trip time (SRTT) 間隔 (ミリ秒単位)
Pacing Time Un/Reliable	EIGRP パケット (信頼できない、または信頼できるパケット) をインターフェイスに送信するときを決定するペーシング時間
Multicast Flow Timer	ルータがマルチキャスト EIGRP パケットを送信する最大秒数
Pending Routes	送信されるのを待っている、送信キューのパケットのルートの数

次に、EIGRP インターフェイスに関する詳細を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp interfaces detail

IP-EIGRP interfaces for AS 1 vrf default

Interface          Peers      Xmit Queue   Mean   Pacing Time   Multicast   Pending
                   Un/Reliable SRTT    Un/Reliable   Flow Timer  Routes
-----
e 2/6                1          0/0         3      0/10         50          0

  Hello interval is 5 sec, hold time is 15 sec
  Next xmit serial <none>
  Un/reliable mcasts: 0/4 Un/reliable ucasts: 6/3
  Mcast exceptions: 0 CR packets: 0 ACKs suppressed: 1
  Retransmissions sent: 0 Out-of-sequence rcvd: 1
  Bandwidth percent is 50
  Authentication mode is not set

switch#
```

表 10 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 10 show ip eigrp interfaces detail フィールドの説明

フィールド	説明
Hello interval	hello パケット送信間隔
hold time	ネイバーに通知されるホールド タイム。ネイバーがこの時間内にルータから hello パケットを受信しないと、ネイバーはネイバー関係のダウンを宣言します。
Next xmit serial	次の送信シリアル番号
Un/reliable mcasts	このインターフェイスで送信される信頼できない、および信頼できるマルチキャストパケットの数
Un/reliable ucasts	このインターフェイスで送信される信頼できない、および信頼できるユニキャストパケットの数
Mcast exceptions	マルチキャスト例外の数 (シーケンス TLV)
CR packets	条件付き受信ビットセットで送信されたパケットの数
ACKs suppresses	抑制される ACK パケットの数
Retransmissions	このインターフェイスでの再送信の数
Out-of-sequence rcvd	シーケンスから受信したパケットの数
Bandwidth percent	設定された帯域幅のパーセント
Authentication	認証モード

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show ip eigrp neighbors</code>	EIGRP が検出したネイバーを表示します。

show ip eigrp neighbors

Enhanced IGRP (EIGRP)によって検出されたネイバーの情報を表示するには、**show ip eigrp neighbors** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] [vrf {vrf-name | *}] neighbors [detail] [interface-type interface-instance]
[static]
```

シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	インスタンス タグは、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>vrf *</i>	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
<i>detail</i>	(任意) 詳細な EIGRP ネイバー情報を表示します。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
<i>interface-instance</i>	(任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス。 <i>instance</i> を指定すると、ネイバーテーブルからこのインターフェイスを介して学習されたエントリをすべて削除します。 <i>instance</i> 引数の構文は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 物理インターフェイス インスタンス。名前の表記は <i>slot/port</i> で、値の間のスラッシュ記号は表記の一部として必要です。 仮想インターフェイス インスタンス。番号の範囲はインターフェイスタイプによって異なります。 ルータ構文の詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
<i>static</i>	(任意) スタティック EIGRP インターフェイス情報を表示します。

デフォルト

VRF またはインターフェイスが指定されていない場合、このコマンドはすべてのインターフェイス上のデフォルトの VRF のすべてのネイバーを表示します。

コマンド モード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ネイバーがアクティブになる、また非アクティブになるときを決定するには、**show ip eigrp neighbors** コマンドを使用します。このコマンドは、転送問題の特定のタイプのデバッグにも役立ちます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、EIGRP ネイバーに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp neighbors

IP-EIGRP Neighbors for process 77 vrf default

Address                Interface    Holdtime  Uptime    Q      Seq  SRTT  RTO
                   (secs)      (h:m:s)  Count    Num   (ms)  (ms)
-----
192.0.2.28             e1/3        13        0:00:41  0      11   4     20
192.0.2.2              e4/4        14        0:02:01  0      10  12    24

switch#
```

表 11 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 11 show ip eigrp neighbors フィールドの説明

フィールド	説明
process	ルータ コンフィギュレーション コマンドで指定された Autonomous System (AS; 自律システム) 番号
vrf	VRF 名
Address	EIGRP ピアの IP アドレス
Interface	ルータがピアから hello パケットを受信するインターフェイス
Holdtime	ピアがダウンであると宣言するまでに、Cisco NX-OS software がピアからの受信を待機する時間 (秒単位)。
Uptime	ローカル ルータがこのネイバーから最初に受信してからの経過時間 (時間、分、秒単位)。
Q Count	ソフトウェアが送信を待機する EIGRP パケット (アップデート、クエリー、および応答) の数
Seq Num	このネイバーから受信した最後のアップデート、クエリー、または応答パケットのシーケンス番号
SRTT	smoothed round-trip time (SRTT)。このフィールドは、EIGRP パケットをこのネイバーに送信し、ローカルルータがパケットの acknowledgment (ACK; 確認応答) を受信するのに必要なミリ秒数を示します。
RTO	再送信タイムアウト (ミリ秒単位)。このフィールドは、再送信キューからパケットをネイバーに再送信するまでソフトウェアが待機する時間を示します。

次に、EIGRP ネイバーに関する詳細な情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp neighbors detail

IP-EIGRP neighbors for AS 1 vrf default

H   Address                Interface    Hold Uptime    SRTT  RTO  Q  Seq
                   (sec)      (h:m:s)  (ms)  (ms)  Cnt Num
---
0   192.0.2.10             e1/5        14 01:00:52    3    200  0  10

      Version 12.4/1.2, Retrans: 0, Retries: 0, Prefixes: 3

switch#
```

表 12 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 12 show ip eigrp neighbors detail フィールドの説明

フィールド	説明
Version	ノードおよびネイバーで稼働する EIGRP ソフトウェアのバージョン
Retrans:	このネイバーへの再送信の数
Retries:	最後の ACK 以降の、このネイバーへの再送信の数
Prefixes	このネイバーから学習したプレフィックスの数

関連コマンド

コマンド	説明
<i>clear ip eigrp neighbors</i>	EIGRP のネイバーをクリアします。

show ip eigrp policy statistics

Enhanced IGRP (EIGRP) のポリシー統計情報を表示するには、任意のモードで **show ip eigrp policy statistics** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] [vrf {vrf-name | *}] policy statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id |
isis id | ospf id | rip id | static}
```

シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	インスタンス タグは、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>vrf *</i>	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
<i>bgp</i>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を表示します。
<i>direct</i>	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
<i>eigrp</i>	EIGRP のポリシー統計情報を表示します。
<i>isis</i>	IS-IS ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<i>ospf</i>	OSPF プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<i>rip</i>	RIP のポリシー統計情報を表示します。
<i>static</i>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を表示します。
<i>id</i>	bgp キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイトの番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイトの番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。 eigrp キーワードは、ルートの再配布元である EIGRP インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。 isis キーワードは、ルートの再配布元である IS-IS インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。 ospf キーワードは、ルートの再配布元である OSPF インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。
4.0(13)	このコマンドは削除され、 show ip eigrp route-map statistics コマンドに置き換えられました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次に、EIGRP のポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip eigrp policy statistics redistribute direct
C: No. of comparisons, M: No. of matches

route-map rmap1 permit 1

Total accept count for policy: 10
Total reject count for policy: 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
<i>clear ip eigrp policy statistics</i>	EIGRP のポリシー統計情報をクリアします。
<i>show ip eigrp traffic</i>	EIGRP トラフィック統計情報を表示します。

show ip eigrp route-map statistics

Enhanced IGRP (EIGRP) のルート再配布統計情報を表示するには、任意のモードで **show ip eigrp route-map statistics** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] [vrf {vrf-name | *}] route-map statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp
id | isis id | ospf id | rip id | static}
```

シンタックスの説明

instance-tag	(任意) インスタンス タグ。インスタンス タグは、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
vrf *	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
bgp	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を表示します。
direct	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
eigrp	EIGRP のポリシー統計情報を表示します。
isis	IS-IS ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
ospf	OSPF プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
rip	RIP のポリシー統計情報を表示します。
static	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を表示します。
id	bgp キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイトの番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイトの番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。 eigrp キーワードは、ルートの再配布元である EIGRP インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。 isis キーワードは、ルートの再配布元である IS-IS インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。 ospf キーワードは、ルートの再配布元である OSPF インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、**show ip eigrp policy statistics** コマンドから置き換えられました。このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次に、EIGRP のルート マップ統計情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ip eigrp route-map statistics redistribute direct
C: No. of comparisons, M: No. of matches

route-map rmap1 permit 1

Total accept count for policy: 10
Total reject count for policy: 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
<i>clear ip eigrp route-map statistics</i>	EIGRP のルート マップ統計情報をクリアします。
<i>show ip eigrp traffic</i>	EIGRP トラフィック統計情報を表示します。

show ip eigrp topology

Enhanced IGRP (EIGRP) トポロジ テーブルを表示するには、**show eigrp topology** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] [vrf {vrf-name | *}] topology [ip-address/length] [active | all-links |
detail-links | pending | summary | zero-successors]
```

シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP のインスタンス。インスタンス タグは、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>vrf *</i>	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。
<i>ip-address/length</i>	(任意) スラッシュ (/) と数字で表示されたネットワーク マスクを使用した、4 つの部分からなるドット付き 10 進表記の IP アドレス。たとえば、/8 は、マスクの最初の 8 ビットが 1 であり、アドレスの対応するビットはネットワーク アドレスであることを示します。
<i>active</i>	(任意) EIGRP トポロジ テーブルのアクティブ エントリのみを表示します。
<i>all-links</i>	(任意) EIGRP トポロジ テーブルのエントリをすべて表示します。
<i>detail-links</i>	(任意) EIGRP トポロジ テーブルのすべてのエントリの詳細な情報を表示します。
<i>pending</i>	(任意) ネイバーからアップデートを待機する、またはネイバーへの応答を待機する EIGRP トポロジ テーブルのすべてのエントリを表示します。
<i>summary</i>	(任意) EIGRP トポロジ テーブルのサマリーを表示します。
<i>zero-successors</i>	(任意) EIGRP トポロジ テーブルで使用可能なルートを表示します。

デフォルト

VRF が指定されていない場合、このコマンドはデフォルトの VRF の情報を表示します。

コマンド モード

任意

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース 変更内容

4.0(1)	このコマンドが導入されました。
--------	-----------------

使用上のガイドライン

Diffusing Update Algorithm (DUAL; Diffusing アップデート アルゴリズム) ステートを判断し、DUAL 問題をデバッグするには、**show ip eigrp topology** コマンドを使用します。

キーワードまたは引数を指定せずに **show ip eigrp topology** コマンドを使用すると、Cisco NX-OS はフィージブル サクセサであるルートのみを表示します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、EIGRP トポロジテーブルを表示する例を示します。指定された内部ルートおよび外部ルートの EIGRP メトリックが表示されます。

```
switch# show ip eigrp topology 10.2.1.0/24

IP-EIGRP (AS 1): Topology entry for 192.0.2.0/24
  State is Passive, Query origin flag is 1, 1 Successor(s), FD is 281600
  Routing Descriptor Blocks:
    192.0.2.22 (Ethernet 2/1), from 10.2.1.1, Send flag is 0x0
      Composite metric is (409600/128256), Route is External
      Vector metric:
        Minimum bandwidth is 10000 Kbit
        Total delay is 6000 microseconds
        Reliability is 255/255
        Load is 1/255
        Minimum MTU is 1500
        Hop count is 1
      External data:
        Originating router is 10.89.245.1
        AS number of route is 0
        External protocol is Connected, external metric is 0
        Administrator tag is 0 (0x00000000)
switch#
```

次の例では、**all-links** オプションを示します。

```
switch(config)# show ip eigrp topology all-links
IP-EIGRP Topology Table for AS(100)/ID(4.4.4.4) VRF default

Codes: P - Passive, A - Active, U - Update, Q - Query, R - Reply,
       r - reply Status, s - sia Status

P 3.3.3.0/24, 1 successors, FD is 130816, serno 58
   via 192.168.6.2 (130816/128256), Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (153856/128256), Ethernet2/1
P 2.2.2.0/24, 1 successors, FD is 130816, serno 57
   via 192.168.6.2 (130816/128256), Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (153856/128256), Ethernet2/1
P 1.1.1.0/24, 1 successors, FD is 130816, serno 56
   via 192.168.6.2 (130816/128256), Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (153856/128256), Ethernet2/1
P 192.168.6.0/24, 1 successors, FD is 2816, serno 25
   via Connected, Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (26112/2816), Ethernet2/1
P 6.6.6.0/24, 1 successors, FD is 128256, serno 24
   via Connected, loopback6
P 5.5.5.0/24, 1 successors, FD is 128256, serno 23
   via Connected, loopback5
P 4.4.4.0(1)/24, 1 successors, FD is 128256, serno 16
   via Connected, loopback4
P 192.168.5.0/24, 1 successors, FD is 25856, serno 1
   via Connected, Ethernet2/1
   via 192.168.6.2 (3072/2816), Ethernet2/2
```

次の例では、詳細を示します。

```
switch(config)# show ip eigrp topology detail-links
IP-EIGRP Topology Table for AS(100)/ID(4.4.4.4) VRF default

Codes: P - Passive, A - Active, U - Update, Q - Query, R - Reply,
       r - reply Status, s - sia Status

P 3.3.3.0/24, 1 successors, FD is 130816, serno 58
   via 192.168.6.2 (130816/128256), Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (153856/128256), Ethernet2/1
P 2.2.2.0/24, 1 successors, FD is 130816, serno 57
   via 192.168.6.2 (130816/128256), Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (153856/128256), Ethernet2/1
P 1.1.1.0/24, 1 successors, FD is 130816, serno 56
   via 192.168.6.2 (130816/128256), Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (153856/128256), Ethernet2/1
P 192.168.6.0/24, 1 successors, FD is 2816, serno 25
   via Connected, Ethernet2/2
   via 192.168.5.2 (26112/2816), Ethernet2/1
P 6.6.6.0/24, 1 successors, FD is 128256, serno 24
   via Connected, loopback6
P 5.5.5.0/24, 1 successors, FD is 128256, serno 23
   via Connected, loopback5
P 4.4.4.0(1)/24, 1 successors, FD is 128256, serno 16
   via Connected, loopback4
P 192.168.5.0/24, 1 successors, FD is 25856, serno 1
   via Connected, Ethernet2/1
   via 192.168.6.2 (3072/2816), Ethernet2/2
```

次の例では、トポロジテーブルのサマリーを示します。

```
switch(config)# show ip eigrp topology summary
IP-EIGRP Topology Table for AS(100)/ID(4.4.4.4) VRF default

Head serial 1, next serial 59
8 routes, 0 pending replies, 0 dummies
IP-EIGRP(0) enabled on 5 interfaces, 2 neighbors present on 2 interfaces
Quiescent interfaces: Eth2/2 Eth2/1
```

次の例では、トポロジテーブルのアクティブ エントリを示します。

```
switch(config-if)# show ip eigrp topology active
IP-EIGRP Topology Table for AS(101)/ID(80.86.2.3) VRF default

Codes: P - Passive, A - Active, U - Update, Q - Query, R - Reply,
       r - reply Status, s - sia Status

A 8.3.2.0/24, 1 successors, FD is Inaccessible
   1 replies, active 00:00:04, query-origin: Local origin
   via Connected (Infinity/Infinity), loopback8
   Remaining replies:
     via 5.5.5.6, r, Ethernet2/6
```

次の例では、トポロジテーブルのゼロ サクセサを示します。

```
switch(config-router)# show ip eigrp topology zero-successors
IP-EIGRP Topology Table for AS(101)/ID(10.1.48.4) VRF default

Codes: P - Passive, A - Active, U - Update, Q - Query, R - Reply,
       r - reply Status, s - sia Status

P 10.1.49.0/24, 0 successors, FD is Inaccessible
   via 5.5.5.5 (28416/28160), Ethernet2/6
```

次の例では、保留中のエントリを示します。

```
switch(config)# show ip eigrp topology pending
IP-EIGRP Topology Table for AS(100)/ID(1.1.1.1) VRF default

Codes: P - Passive, A - Active, U - Update, Q - Query, R - Reply,
       r - reply Status, s - sia Status

P 6.6.6.0/24, 1 successors, FD is 130816, U
   via 192.168.5.1 (130816/128256), Ethernet2/1
P 5.5.5.0/24, 1 successors, FD is 130816, U
   via 192.168.5.1 (130816/128256), Ethernet2/1
P 4.4.4.0(1)/24, 1 successors, FD is 130816, U
   via 192.168.5.1 (130816/128256), Ethernet2/1
P 8.8.8.0/24, 1 successors, FD is 130816, U
   via 192.168.5.1 (130816/128256), Ethernet2/1
```

表 13 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 13 show ip eigrp topology フィールドの説明

フィールド	説明
Query origin	クエリーの origin ステート
Successors	このプレフィックスのフィージブルサクセサの数
FD	このプレフィックスのフィージブルディスタンス
10.2.1.1 (Gi0/0)	このパスが学習されたネクストホップとインターフェイス
from 10.2.1.1	このパスの情報送信元
Send flag	このネイバーへのこのプレフィックスの送信が中断されているかどうかの状態
Composite metric is...	最初の番号は、宛先へのコストを示す EIGRP メトリックです。2 番目の番号は、このピアがアダバタイズした EIGRP メトリックです
Route is	ルート タイプ (内部または外部)
Vector Metric	ネイバーによってアダバタイズされたメトリック (帯域幅、遅延、信頼性、負荷、MTU、およびホップカウント)
External Data	ネイバーによってアダバタイズされた外部情報 (発信元ルータ ID、AS 番号、外部プロトコル、メトリック、およびタグ)

show ip eigrp traffic

送受信される Enhanced IGRP (EIGRP) パケットの数を表示するには、**show ip eigrp traffic** コマンドを使用します。

```
show ip eigrp [instance-tag] [vrf {vrf-name | *}] traffic
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) EIGRP のインスタンス。インスタンス タグは、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>vrf *</i>	(任意) すべての VRF インスタンスを指定します。

デフォルト VRF が指定されていない場合、このコマンドはデフォルトの VRF の情報を表示します。

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン この EIGRP インスタンスによって送受信されたパケットの数を確認するには、**show ip eigrp traffic** コマンドを使用します。

さらに、このコマンドは、接続問題または設定問題によって、1 つのノードからのパケットが隣接ノードに到達していないかどうか判断するのに役立ちます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、EIGRP トラフィック統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip eigrp traffic

IP-EIGRP Traffic Statistics for AS 1 vrf default

  Hellos sent/received: 736/797
  Updates sent/received: 6/6
  Queries sent/received: 0/1
  Replies sent/received: 1/0
  Acks sent/received: 6/6
  Input queue high water mark 0, 0 drops
  SIA-Queries sent/received: 0/0
  SIA-Replies sent/received: 0/0
```

表 14 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 14 show eigrp traffic フィールドの説明

フィールド	説明
AS 1	router eigrp コマンドで指定された Autonomous System (AS; 自律システム) 番号
vrf default	show コマンドで指定された VRF
Hellos sent/received:	送受信された hello パケットの数
Updates sent/received:	送受信されたアップデートパケットの数
Queries sent/received:	送受信されたクエリーパケットの数
Replies sent/received:	送受信された応答パケットの数
Acks sent/received:	送受信された acknowledgment (ACK; 確認応答) パケットの数
Input queue high water mark	入力キューのパケットの最大数とドロップの数
SIA-Queries sent/received	送受信された Stuck-in-Active クエリーパケットの数
SIA-Replies sent/received:	送受信された Stuck-in-Active 応答パケットの数

show ip fib

転送情報を表示するには、**show ip fib** コマンドを使用します。

```
show ip fib {adjacency | interfaces | route} module slot
```

シンタックスの説明

<i>adjacency</i>	隣接情報を示します。
<i>interfaces</i>	モジュール上のインターフェイスの転送情報を示します。
<i>route</i>	(任意) モジュール上のルートの転送情報を示します。
<i>module slot</i>	モジュールの情報を示します。スロット範囲は、ハードウェア プラットフォームによって異なります。

コマンド モード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

モジュールで転送情報を表示するには、スーパーバイザで **show ip fib** コマンドを使用します。任意で **attach module** コマンドを使用してモジュールを接続し、モジュールで **show ip fib** コマンドを使用できます。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、モジュール 2 の転送情報を示します。

```
switch# show ip fib route module 2
```

```
IPv4 routes for table default/base
```

Prefix	Next-hop	Interface
0.0.0.0/32	Drop	Null0
255.255.255.255/32	Receive	sup-eth1

関連コマンド

コマンド	説明
show forwarding	FIB に関する情報を示します。

show ip fib distribution

転送分散情報を表示するには、**show ip fib distribution** コマンドを使用します。

show ip fib distribution [clients | state]

シンタックスの説明

<i>clients</i>	(任意) ユニキャストクライアントの転送分散情報を示します。
<i>state</i>	(任意) ユニキャスト FIB の転送分散ステートを示します。

コマンドモード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、ユニキャストクライアントの転送情報を示します。

```
switch# show ip fib distribution clients

id  pid      shmem-start  shmem-end  shmem-name
--  -
 1  3646     0x64f70120  0x64fc0000  u6rib-ufdm
 2  3647     0x64b50120  0x64d50000  urib-ufdm
```

関連コマンド

コマンド	説明
show forwarding distribution	FIB に関する分散情報を示します。

show ip interface

インターフェイスの IP 情報を表示するには、**show ip interface** コマンドを使用します。

```
show ip interface [type number] [brief][vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。オプションを表示するには、? を使用します。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。範囲を表示するには、? を使用します。
brief	(任意) IP 情報のサマリーを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、インターフェイス Ethernet 2/1 の IP 情報を示します。

```
switch# show ip interface ethernet 2/1
Ethernet2/1, Interface status: protocol-down/link-down/admin-down, iof: 80,
  IP VRF context: "default"
  IP address: 192.0.2.1, IP subnet: 192.0.0.0/8
  IP broadcast address: 255.255.255.255
  IP multicast groups locally joined: none
  IP MTU: 1500 bytes (using link MTU)
  IP primary address route-preference: 0, tag: 0
  IP proxy ARP : disabled
  IP Local Proxy ARP : disabled
  IP multicast routing: disabled
  IP icmp redirects: enabled
  IP directed-broadcast: disabled
  IP icmp unreachable (except port): disabled
  IP icmp port-unreachable: enabled
  IP RP inbound packet-filtering policy: none
  IP RP outbound packet-filtering policy: none
  IP inbound packet-filtering policy: none
  IP outbound packet-filtering policy: none
  IP unicast reverse path forwarding: none
  IP unicast reverse path forwarding fail policy: none
  IP interface statistics last reset: never
  IP interface software stats: (sent/received/forwarded/originated/consumed)
    Unicast packets   : 0/0/0/0/0
    Unicast bytes     : 0/0/0/0/0
    Multicast packets : 0/0/0/0/0
    Multicast bytes   : 0/0/0/0/0
    Broadcast packets : 0/0/0/0/0
    Broadcast bytes   : 0/0/0/0/0
    Labeled packets   : 0/0/0/0/0
    Labeled bytes     : 0/0/0/0/0
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show ipv6 interface</code>	インターフェイスの IPv6 情報を表示します。

show ip load-sharing

IP ロードシェアリング情報を表示するには、**show ip load-sharing** コマンドを使用します。

show ip load-sharing

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、IP ロードシェアリング情報を示します。

```
switch# show ip load-sharing
IPv4/IPv6 ECMP load sharing:
Universal-id (Random Seed): 2823428857
Load-share mode : address source-destination port source-destination Broadcast bytes
: 0/0/0/0/0
   Labeled packets   : 0/0/0/0/0
   Labeled bytes     : 0/0/0/0/0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ip load-sharing	IP ロードシェアリングを表示します。

show ip mbgp

Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP) テーブルのエントリを表示するには、**show ip mbgp** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp [p-addr | ip-prefix [longer-prefixes]] [received-paths] [regex expression] [route-map map-name] [summary] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明

<i>ip-addr</i>	(任意) MBGP ルート テーブルからのネットワーク。フォーマットは、x.x.x.x です。
<i>ip-prefix</i>	(任意) MBGP ルート テーブルからのプレフィクス。フォーマットは、x.x.x.x/length です。
longer-prefixes	(任意) プレフィクスと特定のルートを示します。
received-paths	(任意) ソフトリコンフィギュレーション用に保存されたパスを表示します。
regex expression	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
route-map map-name	(任意) ルートマップと一致するルートを表示します。マップ名は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
summary	(任意) ルートのサマリーを表示します。
vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、MBGP ルート テーブルを示します。

```
switch(config-router)# show ip mbgp
BGP routing table information for VRF default, address family IPv4 Multicast
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip mbgp	MBGP ルート テーブルのエントリをクリアします。

show ip mbgp community

コミュニティと一致する Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP) ルートを表示するには、**show ip mbgp community** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp community [as-number] [internet] [no-advertise] [no-export] [no-export-subconfed]
[exact-match]; [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>as-number</i>	AS 番号。AS 番号は、<上位 16 ビットの 10 進数>.<下位 16 ビットの 10 進数>形式の 16 ビットの整数または 32 ビットの整数です。
internet	(任意) インターネット コミュニティを表示します。
no-advertise	(任意) no-advertise コミュニティを表示します。
no-export	(任意) no-export コミュニティを表示します。
no-export-subconfed	(任意) no-export-subconfed コミュニティを表示します。
exact-match	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、コミュニティと一致するルートを示します。

```
switch(config)# show ip mbgp community
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ip community-list	コミュニティリストを作成します。

show ip mbgp community-list

コミュニティ リストと一致する Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP) ルートを表示するには、**show ip mbgp community-list** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp community-list commlist-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明		
<i>commlist-name</i>		コミュニティ リストの名前。commlist-name は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
exact-match		(任意) コミュニティの完全一致を表示します。
vrf vrf-name		(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、コミュニティ リストと一致するルートを示します。

```
switch(config)# show ip mbgp community-list test1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ip community-list	コミュニティ リストを作成します。

show ip mbgp dampening

Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP) ダンプニング情報を表示するには、**show ip mbgp dampening** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp dampening {dampened-paths [regex expression] | flap-statistics | history-paths
[regex expression] | parameters} [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
ipv4	(任意) IPv4 アドレス ファミリの MBGP 情報を示します。
ipv6	(任意) IPv6 アドレス ファミリの MBGP 情報を示します。
unicast	ユニキャストアドレスファミリの MBGP 情報を示します。
multicast	マルチキャストアドレスファミリの MBGP 情報を示します。
all	(任意) すべてのアドレスファミリの MBGP 情報を示します。
dampened-paths	ダンプニングされたパスをすべて表示します。
regex expression	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
flap-statistics	ルートの統計情報を表示します。
history-paths	履歴パスをすべて表示します。
parameters	ダンプニング パラメータをすべて表示します。
vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、ダンプニング情報を示します。

```
switch(config)# show ip mbgp dampening dampened-paths
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 bgp dampening	BGP ダンプニング情報を表示します。

show ip mbgp filter-list

フィルタ リストと一致する Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP) ルートを表示するには、**show ip mbgp filter-list** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp filter-list list-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	<i>list-name</i>	フィルタ リストの名前。comm-list-name は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
	exact-match	(任意) フィルタの完全一致を表示します。
	vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、フィルタ リストと一致するルートを示します。

```
switch(config)# show ip mbgp filter-list test1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 bgp filter-list	フィルタ リストと一致する BGP ルートを表示します。

show ip mbgp flap-statistics

Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP) フラップ統計情報を表示するには、**show ip mbgp flap-statistics** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp flap-statistics [prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>prefix</i>	(任意) IPv6 プレフィクス。フォーマットは、 <i>x.x.x.x/length</i> です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール
 ネットワーク管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、フラップ統計情報を示します。

```
switch(config)# show ip mbgp flap-statistics
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 bgp	BGP 情報を表示します。

show ip mbgp history-paths

Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP) 履歴パスを表示するには、**show ip mbgp history-paths** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp history-paths [regexp expression] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	regexp expression	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
	vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、BGP 履歴パス情報を示します。

```
switch(config)# show ip mbgp history-paths
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 bgp history-paths	BGP 履歴パス情報を表示します。

show ip mbgp neighbors

Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP) ネイバーを表示するには、**show ip mbgp neighbors** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp neighbors [addr | prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>addr</i>	IPv4 アドレス。フォーマットは、x.x.x.x です。
<i>prefix</i>	(任意) IPv4 プレフィクス。フォーマットは、x.x.x.x/length です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、MBGP ネイバーを示します。

```
switch(config)# show ip mbgp neighbors
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 bgp neighbors	BGP 情報を表示します。

show ip bgp nexthop

Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP) ネクストホップ情報を表示するには、**show ip mbgp nexthop** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp nexthop addr [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	addr	IPv4 アドレス。フォーマットは、x.x.x.x です。
	vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、BGP ネクストホップ情報を示します。

```
switch(config)# show ip mbgp nexthop 192.0.2.1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 bgp nexthop	BGP 情報を表示します。

show ip mbgp nexthop-database

Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP) ネクストホップ データベースを表示するには、**show ip mbgp nexthop-database** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp nexthop-database [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	vrf vrf-name (任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
------------------	---

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
----------------------	---

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

例	次の例では、BGP ネクストホップ データベースを示します。 switch(config)# show ip mbgp nexthop-database
----------	--

関連コマンド	コマンド 説明
	show ipv6 bgp nexthop-database BGP 情報を表示します。

show ip mbgp prefix-list

プレフィクスリストと一致する Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP) ルートを表示するには、**show ip mbgp prefix-list** コマンドを使用します。

```
show ip mbgp prefix-list list-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	<i>list-name</i>	プレフィクスリストの名前。commlist-name は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
	exact-match	(任意) フィルタの完全一致を表示します。
	vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、プレフィクスリストと一致するルートを示します。

```
switch(config)# show ip mbgp prefix-list test1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 bgp prefix-list	プレフィクスリストと一致する BGP ルートを表示します。

show ip ospf

OSPF ルーティング インスタンスに関する一般情報を表示するには、**show ip ospf** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。特定の OSPF インスタンスに関する OSPF 情報を表示するのにこのタグを使用します。 <i>instance-tag</i> 引数は、任意の英数字文字列です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。

デフォルト	
	なし

コマンド モード	
	任意

サポートされるユーザロール	
	ネットワーク管理者 VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	
	1 つまたは複数の OSPF インスタンスに関する情報を表示するには、 show ip ospf コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、特定の 1 つの OSPF インスタンスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf 201
Routing Process 201 with ID 192.0.2.15 vrf default
Stateful High Availability enabled
Graceful-restart is configured
  Notify period: 15, grace period: 60, state: Inactive
  Last graceful restart exit status: (null)
Supports only single TOS(TOS0) routes
Supports opaque LSA
Reference Bandwidth is 40000 Mbps
Initial SPF schedule delay 200.000 msecs,
  minimum inter SPF delay of 1000.000 msecs,
  maximum inter SPF delay of 5000.000 msecs
Minimum hold time for Router LSA throttle 5000.000 ms
Minimum hold time for Network LSA throttle 5000.000 ms
Minimum LSA arrival 1000.000 msec
Maximum paths to destination 8
Number of external LSAs 0, checksum sum 0
Number of opaque AS LSA 0, checksum sum 0
Number of areas is 2, 2 normal, 0 stub, 0 nssa
Number of active areas is 0, 0 normal, 0 stub, 0 nssa
  Area BACKBONE(0) (Inactive)
    Area has existed for 1w0d
    Interfaces in this area: 1 Active interfaces: 0
    No authentication available
    SPF calculation has run 3 times
    Last SPF ran for 0.000132s
    Area ranges are
    Number of LSAs: 0, checksum sum 0
  Area (10) (Inactive)
    Area has existed for 1w0d
    Interfaces in this area: 1 Active interfaces: 0
    No authentication available
    SPF calculation has run 3 times
    Last SPF ran for 0.000035s
    Area ranges are
    Number of LSAs: 0, checksum sum 0
```

表 15 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 15 show ip ospf フィールドの説明

フィールド	説明
Routing Process...	OSPF インスタンス タグおよび OSPF ルータ ID
Stateful High Availability	ステートフル再起動機能のステータス
Graceful-restart	グレースフル リスタート設定のステータス
grace period	OSPF がグレースフル リスタートを開始する必要がある秒数
Last graceful restart exit status	最後のグレースフル リスタートの終了ステータス
Supports...	サポートされるサービス タイプの数 (タイプ 0 のみ)
Reference Bandwidth	コスト計算に使用する帯域幅
Initial SPF schedule delay	SPF 計算の遅延時間
Minimum LSA arrival	Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) の間の最小時間
Number of...	受信した LSA の数およびタイプ
Number of areas is...	ルータ用に設定されたエリアの数およびタイプ

show ip ospf border-routers

Area Border Router (ABR; エリア境界ルータ) および Autonomous System Boundary Router (ASBR; 自律システム境界ルータ) に対して、OSPF ルーティング テーブル エントリを表示するには、**show ip ospf border-routers** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] border-routers
```

シンタックスの説明	<i>instance-tag</i> (任意) インスタンス タグ。特定の OSPF インスタンスに関する OSPF 情報を表示するのにこのタグを使用します。 <i>instance-tag</i> 引数は、任意の英数字文字列です。				
	<i>vrf vrf-name</i> (任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	任意				
サポートされるユーザ ロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				

使用上のガイドライン ABR および ASBR に関する情報を表示するには、**show ip ospf border-routers** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、境界ルータに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf border-routers

OSPF Process ID p1, vrf default Internal Routing Table
Codes: i - Intra-area route, I - Inter-area route

i 40.40.40.40 [10], ABR, Area 0.0.0.0, SPF 71 via
    192.0.2.1, Ethernet2/1
i 60.60.60.60 [20], ABR, Area 0.0.0.0, SPF 71 via
    192.0.2.1, Ethernet2/1
i 40.40.40.40 [10], ABR, Area 0.0.0.1, SPF 71 via
    192.0.2.1, Ethernet2/2
i 60.60.60.60 [20], ABR, Area 0.0.0.1, SPF 71 via
    192.0.2.1, Ethernet2/2
```

表 16 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 16 show ip ospf border-routers フィールドの説明

フィールド	説明
40.40.40.40	宛先のルータ ID
[10]	このルートを使用するコスト
ABR	宛先のルータ タイプ。タイプは ABR、ASBR、または両方です。
Area	このルートが学習されたエリアのエリア ID
SPF 71	このルートをインストールする Shortest Path First (SPF) 計算の内部番号
via 192.0.2.1	宛先に対するネクストホップ
Ethernet2/1	発信インターフェイスのインターフェイス タイプ

show ip ospf database

特定のルータの OSPF データベースを表示するには、**show ip ospf database** コマンドを使用します。

```

show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] database [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address |
self-originated] [detail]

show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] database asbr-summary [area-id] [link-state-id] [adv-router
ip-address | self-originated] [detail]

show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] database database-summary

show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] database external [ext_tag value] [link-state-id] [adv-router
ip-address | self-originated] [detail]

show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] database network [area-id] [link-state-id] [adv-router
ip-address | self-originated] [detail]

show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] database nssa-external [area-id] [link-state-id] [adv-router
ip-address | self-originated] [detail]

show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] database opaque-area [area-id] [link-state-id] [adv-router
ip-address | self-originated] [detail]

show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] database opaque-as [link-state-id] [adv-router ip-address |
self-originated] [detail]

show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] database opaque-link [area-id] [link-state-id] [adv-router
ip-address | self-originated] [detail]

show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] database router [area-id] [link-state-id] [adv-router
ip-address | self-originated] [detail]

show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] database summary [area-id] [link-state-id] [adv-router
ip-address | self-originated] [detail]

```

シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>area-id</i>	(任意) 特定のエリアを定義するのに使用するエリア番号。IP アドレスまたは番号 (0 ~ 4294967295) のいずれかで指定します。
<i>link-state-id</i>	(任意) アドバタイズメントによって説明されるインターネット環境の部分。入力した値は、アドバタイズメントのリンクステートタイプによって異なります。IP アドレスの形式で指定します。
<i>adv-router ip-address</i>	(任意) 指定されたルータのすべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステートアドバタイズメント) を表示します。
<i>self-originate</i>	(任意) 自動送信 LSA (ローカルルータから) を表示します。
<i>asbr-summary</i>	(任意) Autonomous System Boundary Router (ASBR; 自律システム境界ルータ) サマリー LSA に関する情報を表示します。
<i>database-summary</i>	(任意) データベースの各エリアの各 LSA タイプと、LSA の総数を表示します。
<i>external</i>	(任意) 外部 LSA に関する情報を表示します。
<i>ext_tag value</i>	(任意) 外部タグに基づいた情報を表示します。範囲は 1 ~ 4294967295 です。
<i>network</i>	(任意) ネットワーク LSA に関する情報を表示します。

<i>nssa-external</i>	(任意) Not-So-Stubby Area (NSSA) 外部 LSA に関する情報を表示します。
<i>opaque-area</i>	(任意) 不透明なエリア LSA に関する情報を表示します。
<i>opaque-as</i>	(任意) 不透明な AS LSA に関する情報を表示します。
<i>opaque-link</i>	(任意) 不透明なリンクローカル LSA に関する情報を表示します。
<i>router</i>	(任意) ルータ LSA に関する情報を表示します。
<i>summary</i>	(任意) 集約 LSA に関する情報を表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 異なる OSPF LSA に関する情報を表示するには、**ip ospf database** コマンドを使用します。

LSA がネットワークを説明する場合、*link-state-id* 引数は次のいずれかの形式を使用します。

- ネットワークの IP アドレス (タイプ 3 要約リンク アドバタイズメントおよび Autonomous System [AS; 自律システム] 外部リンク アドバタイズメントなど)
- リンク ステート ID から取得したアドレス (ネットワーク リンク アドバタイズメントのリンク ステート ID にネットワークのサブネット マスクをマスキングすると、ネットワークの IP アドレスを作成します)
- LSA がルータを説明する場合、リンク ステート ID は常に説明されたルータの OSPF ルータ ID になります。
- AS 外部アドバタイズメント (LS タイプ = 5) がデフォルトのルートを説明する場合、そのリンク ステート ID はデフォルトの宛先 (0.0.0.0) に設定されます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、OSPF データベースを表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf database

OSPF Router with ID (50.50.50.50) (Process ID p1)

      Router Link States (Area 0)

Link ID        ADV Router    Age          Seq#          Checksum Link Count
40.40.40.40    40.40.40.40  930         0x80000004   0x2ea1   3
50.50.50.50    50.50.50.50  935         0x80000002   0x8b52   1
60.60.60.60    60.60.60.60  943         0x800003c5   0x9854   2

      Network Link States (Area 0)

Link ID        ADV Router    Age          Seq#          Checksum
209.165.201.3  60.60.60.60  944         0x80000001   0x7179
192.0.2.1      50.50.50.50  935         0x80000001   0x516a

      Summary Network Link States (Area 0)

Link ID        ADV Router    Age          Seq#          Checksum
209.165.201.1  40.40.40.40  929         0x80000001   0x2498
209.165.201.1  50.50.50.50  928         0x80000001   0x5b2f
209.165.201.1  60.60.60.60  1265        0x800003c3   0xf49b
192.0.2.0      40.40.40.40  943         0x80000001   0x53f3
192.0.2.0      50.50.50.50  935         0x80000001   0x26f8
192.0.2.0      60.60.60.60  930         0x80000001   0x7b51
```

表 17 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 17 show ip ospf database フィールドの説明

フィールド	説明
Link ID	ルータ ID 番号
ADV Router	アドバタイズルータの ID
Age	リンク ステート経過時間
Seq#	リンク ステート シーケンス番号 (以前の、または重複した LSA を検出します)
Checksum	LSA の内容全体のチェックサム
Link count	ルータ用に検出されたインターフェイスの数

次に、ASBR のサマリーを表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf database asbr-summary

OSPF Router with id(192.168.239.66) (Process ID 300)

      Displaying Summary ASB Link States(Area 0.0.0.0)

LS age: 1463
Options: (No TOS-capability)
LS Type: Summary Links(AS Boundary Router)
Link State ID: 172.16.245.1 (AS Boundary Router address)
Advertising Router: 172.16.241.5
LS Seq Number: 80000072
Checksum: 0x3548
Length: 28
Network Mask: 0.0.0.0 TOS: 0 Metric: 1
```

表 18 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 18 show ip ospf database asbr-summary フィールドの説明

フィールド	説明
OSPF Router with id	ルータ ID 番号
Process ID	OSPF プロセス ID
LS age	リンク ステート経過時間
Options	サービス オプションのタイプ (タイプ 0 のみ)
LS Type	リンク ステート タイプ
Link State ID	リンク ステート ID (ASBR)
Advertising Router	アドバタイズルータの ID
LS Seq Number	リンク ステート シーケンス (以前の、または重複した LSA を検出します)
Checksum	LSA の内容全体のチェックサム
Length	LSA の長さ (バイト単位)
Network Mask	実行されたネットワーク マスク
TOS	Type of Service (ToS; タイプ オブ サービス)
Metric	リンク ステート メトリック

次に、外部リンクに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf database external

OSPF Router with id(192.168.239.66) (Autonomous system 300)

        Displaying AS External Link States

LS age: 280
Options: (No TOS-capability)
LS Type: AS External Link
Link State ID: 10.105.0.0 (External Network Number)
Advertising Router: 172.16.70.6
LS Seq Number: 80000AFD
Checksum: 0xC3A
Length: 36
Network Mask: 255.255.0.0
        Metric Type: 2 (Larger than any link state path)
        TOS: 0
        Metric: 1
        Forward Address: 0.0.0.0
        External Route Tag: 0
```

表 19 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 19 show ip ospf database external フィールドの説明

フィールド	説明
OSPF Router with id	ルータ ID 番号
Autonomous system	OSPF AS 番号 (OSPF プロセス ID)
LS age	リンク ステート経過時間
Options	サービス オプションのタイプ (タイプ 0 のみ)
LS Type	リンク ステート タイプ
Link State ID	リンク ステート ID (外部ネットワーク番号)
Advertising Router	アドバタイズルータの ID

表 19 show ip ospf database external フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
LS Seq Number	リンク ステート シーケンス番号(以前の、または重複した LSA を検出します)
Checksum	LSA の内容全体のチェックサム
Length	LSA の長さ (バイト単位)
Network Mask	実行されたネットワーク マスク
Metric Type	外部タイプ
TOS	ToS
Metric	リンク ステート メトリック
Forward Address	転送アドレス。アドバタイズされた宛先へのデータ トラフィックは、このアドレスに転送されます。転送アドレスが 0.0.0.0 に設定されている場合、データ トラフィックは代わりにアドバタイズメントの発信元に転送されます。
External Route Tag	外部ルート タグ。外部ルートごとに付加された 32 ビットのフィールド。このフィールドは、OSPF プロトコルには使用されません。

次に、OSPF データベースのサマリーを表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf database database-summary
```

```
OSPF Router with ID (100.0.0.1) (Process ID 1)
```

```
Area 0 database summary
```

LSA Type	Count	Delete	Maxage
Router	3	0	0
Network	0	0	0
Summary Net	0	0	0
Summary ASBR	0	0	0
Type-7 Ext	0	0	0
Self-originated Type-7	0		
Opaque Link	0	0	0
Opaque Area	0	0	0
Subtotal	3	0	0

```
Process 1 database summary
```

LSA Type	Count	Delete	Maxage
Router	3	0	0
Network	0	0	0
Summary Net	0	0	0
Summary ASBR	0	0	0
Type-7 Ext	0	0	0
Opaque Link	0	0	0
Opaque Area	0	0	0
Type-5 Ext	0	0	0
Self-originated Type-5	200		
Opaque AS	0	0	0
Total	203	0	0

表 20 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 20 show ip ospf database database-summary フィールドの説明

フィールド	説明
Area 0 database summary	エリア番号
Count	最初のコラムで特定されたタイプの LSA の数
Router	そのエリアのルータ LSA の数
Network	そのエリアのネットワーク LSA の数
Summary Net	そのエリアの要約 LSA の数
Summary ASBR	そのエリアの要約 ASBR LSA の数
Type-7 Ext	タイプ 7 LSA の数
Self-originated Type-7	自動送信タイプ 7 LSA
Opaque Link	タイプ 9 LSA の数
Opaque Area	タイプ 10 LSA の数
Subtotal	そのエリアの LSA の合計
Delete	そのエリアで「Deleted」とマークされた LSA の数
Maxage	そのエリアで「Maxaged」とマークされた LSA の数
Process 1 database summary	プロセスのデータベース サマリー
Count	最初のコラムで特定されたタイプの LSA の数
Router	そのプロセスのルータ LSA の数
Network	そのプロセスのネットワーク LSA の数
Summary Net	そのプロセスのサマリー LSA の数
Summary ASBR	そのプロセスの要約 ASBR LSA の数
Type-7 Ext	タイプ 7 LSA の数
Opaque Link	タイプ 9 LSA の数
Opaque Area	タイプ 10 LSA の数
Type-5 Ext	タイプ 5 LSA の数
Self-Originated Type-5	自動送信タイプ 5 LSA の数
Opaque AS	タイプ 11 LSA の数
Total	そのプロセスの LSA の合計

show ip ospf interface

OSPF 関連のインターフェイス情報を表示するには、**show ip ospf interface** コマンドを使用します。

show ip ospf interface [*instance-tag*] [*vrf vrf-name*] [*interface-type interface-number*] [*brief*]

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。 <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。
<i>interface-number</i>	(任意) インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。
<i>brief</i>	(任意) ルータ上の OSPF インターフェイス、ステータス、アドレス、マスク、およびエリアの概要情報を表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン インターフェイスの OSPF ステータスを表示するには、**show ip ospf interface** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、インターフェイス Ethernet 1/2 の OSPF 情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf interface ethernet 1/2
Ethernet1/2 is up, line protocol is up
  IP address 192.0.2.1, Process ID 201 vrf default, area 10
  State UP, Network type BROADCAST, cost 65535
  Index 2, Transmit delay 1 sec, Router Priority 1
  No designated router on this network
  No backup designated router on this network
  0 Neighbors, flooding to 0, adjacent with 0
  Timer intervals: Hello 10, Dead 40, Wait 40, Retransmit 5
  Simple authentication
  Number of link LSAs: 0, checksum sum 0
```

表 21 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 21 show ip ospf interface フィールドの説明

フィールド	説明
Ethernet	プロトコルの物理リンクのステータスおよび動作ステータス
IP Address	インターフェイス IP アドレス、サブネット マスク、およびエリア アドレス
vrf	VRF インスタンス
Transmit Delay	転送遅延、インターフェイス ステート、およびルータ プライオリティ
designated router	代表ルータ ID およびインターフェイス IP アドレス
backup designated router	バックアップ代表ルータ ID およびインターフェイス IP アドレス
Timer intervals	タイマー間隔の設定
Hello	次の hello パケットをこのインターフェイスに送信するまでの秒数

show ip ospf lsa-content-changed-list

変更された内容のあるすべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) のリストを表示するには、**show ip ospf lsa-content-changed-list** コマンドを使用します。

show ip ospf lsa-content-changed-list *neighbor-id interface-type interface-number*

シンタックスの説明		
<i>neighbor id</i>		ネイバーのルータ ID
<i>interface-type</i>		(任意) インターフェイス タイプ。 <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。
<i>interface-number</i>		(任意) インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、イーサネット 2/1 用に変更された LSA のリストを表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf lsa-content-changed-list 192.0.2.2 ethernet 2/1
```

表 22 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 22 show ip ospf lsa-content-changed-list フィールドの説明

フィールド	説明

show ip ospf memory

OSPF プロトコルのメモリ使用統計情報を表示するには、**show ip ospf memory** コマンドを使用します。

show ip ospf memory

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
	4.0(3)	このコマンドは削除されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、OSPF のメモリ統計情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf memory
OSPF Process ID sd, Memory statistics
Process memory: 2096 KB
Byte usage:      needed 0, overhead 192, using 192 bytes
Allocations:    current 6, created 6, failed 0, free 0
Bitfields:      current 30, created 30, failed 0, free 0, using 248010 bytes
Slabs:          current 2, created 2, failed 0, free 0, using 80 bytes
Index failure:  Interface 0, Neighbor 0

Slab Memory
OSPF vertex slab
Alloc 1, max allocs 1, total allocs 1, total frees 0
Total block allocs 1, total block frees 0, max blocks 1
Bytes (size/allocated) 68/69720
OSPF IPv4 prefix routes slab
Alloc 0, max allocs 0, total allocs 0, total frees 0
Total block allocs 0, total block frees 0, max blocks 0
Bytes (size/allocated) 188/64
OSPF router routes slab
Alloc 0, max allocs 0, total allocs 0, total frees 0
Total block allocs 0, total block frees 0, max blocks 0
Bytes (size/allocated) 100/64
OSPF IPv4 next-hops slab
Alloc 1, max allocs 1, total allocs 1, total frees 0
Total block allocs 1, total block frees 0, max blocks 1
Bytes (size/allocated) 32/262232
```

show ip ospf neighbors

インターフェイス単位で OSPF ネイバー情報を表示するには、**show ip ospf neighbor** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] neighbors [interface-type interface-number] [neighbor-id]
[detail] [summary]
```

シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>area-id</i>	(任意) 特定のエリアを定義するのに使用するエリア番号。IP アドレスまたは番号 (0 ~ 4294967295) で指定します。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。 <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。
<i>interface-number</i>	(任意) インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。
<i>neighbor-id</i>	(任意) ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。
<i>detail</i>	(任意) 特定のすべてのネイバーを詳細に表示します (すべてのネイバーを表示します)。
<i>summary</i>	(任意) ネイバーのサマリーを表示します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

この OSPF インスタンスのすべての、または一部のネイバーに関する情報を表示するには、**show ip ospf neighbors** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、ネイバー ID と一致するネイバーに関するサマリー情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf neighbors 10.199.199.137

Neighbor 10.199.199.137, interface address 192.0.2.37
  In the area 0.0.0.0 via interface Ethernet2/1
  Neighbor priority is 1, State is FULL
  Options 2
  Dead timer due in 0:00:32
  Link State retransmission due in 0:00:04
Neighbor 10.199.199.137, interface address 209.165.201.189
  In the area 0.0.0.0 via interface Ethernet4/3
  Neighbor priority is 5, State is FULL
  Options 2
  Dead timer due in 0:00:32
  Link State retransmission due in 0:00:03
```

次に、インターフェイスのネイバー ID と一致するネイバーを表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf neighbors ethernet 2/1 10.199.199.137

Neighbor 10.199.199.137, interface address 192.0.2.37
  In the area 0.0.0.0 via interface Ethernet2/1
  Neighbor priority is 1, State is FULL
  Options 2
  Dead timer due in 0:00:37
  Link State retransmission due in 0:00:04
```

次に、OSPF ネイバーに関する詳細な情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf neighbors detail

Neighbor 192.168.5.2, interface address 10.225.200.28
  In the area 0 via interface GigabitEthernet1/0/0
  Neighbor priority is 1, State is FULL, 6 state changes
  DR is 10.225.200.28 BDR is 10.225.200.30
  Options is 0x42
  LLS Options is 0x1 (LR), last OOB-Resync 00:03:08 ago
  Dead timer due in 00:00:36
  Neighbor is up for 00:09:46
  Index 1/1, retransmission queue length 0, number of retransmission 1
  First 0x0(0)/0x0(0) Next 0x0(0)/0x0(0)
  Last retransmission scan length is 1, maximum is 1
  Last retransmission scan time is 0 msec, maximum is 0 msec
```

表 23 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 23 show ip ospf neighbor detail フィールドの説明

フィールド	説明
Neighbor	ネイバー ルータ ID
interface address	インターフェイスの IP アドレス
In the area	OSPF ネイバーが知られているエリアおよびインターフェイス
Neighbor priority	ネイバーのルータ プライオリティ
State	OSPF ステート
state changes	ネイバーが作成されてから変更されたステートの数。この値は clear ip ospf counters neighbor コマンドを使用してリセットできます。
DR is	インターフェイスの代表ルータのルータ ID
BDR is	インターフェイスのバックアップ代表ルータのルータ ID
Options	hello packet options フィールドの内容 (E ビット専用。可能な値は 0 と 2 です。2 はエリアがスタブでないことを、0 はエリアがスタブであることを示します)
LLS Options..., last OOB-Resync	時間：分：秒前に実行されたリンクローカル シグナリングおよびアウトオブバンド (OOB) リンクステート データベースの再同期化 (NSF 情報)。このフィールドは、最後に成功した NSF 対応ルータとのアウトオブバンド再同期化を示します。
Dead timer due in	ネイバーは非稼働を Cisco NX-OS が宣言するまでの予想時間
Neighbor is up for	ネイバーが双方向ステートになってからの時間：分：秒数
Index	エリア全体および Autonomous System (AS; 自律システム) 全体の再送信キュー内のネイバーの位置
retransmission queue length	再送信キューのエレメントの数
number of retransmission	フラッディング中にアップデート パケットを再送信した回数
First	フラッディングの最初のメモリ位置
Next	フラッディングの次のメモリ位置
Last retransmission scan length	最後の再送信パケット内の Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) の数
maximum	任意の再送信パケットで送信された LSA の最大数
Last retransmission scan time	最後の再送信パケットの構築にかかった時間
maximum	任意の再送信パケットの構築にかかった最大時間

show ip ospf policy statistics area

エリアの OSPF ポリシー統計情報を表示するには、**show ip ospf policy statistics area** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] policy statistics area area id filter-list {in | out}
```

シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>area area-id</i>	特定のエリアを定義するのに使用するエリア番号を指定します。IP アドレスまたは番号 (0 ~ 4294967295) で指定します。
<i>filter-list</i>	OSPF エリアの間のプレフィクスをフィルタリングします。
<i>in</i>	着信ルートのポリシー統計情報を表示します。
<i>out</i>	発信ルートのポリシー統計情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

エリアに適用されたフィルタ リストに関する情報を表示するには、**show ip ospf policy statistics area** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、OSPF のポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf policy statistics area 201
```

show ip ospf policy statistics redistribute

OSPF ポリシー統計情報を表示するには、**show ip ospf policy statistics redistribute** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] policy statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | isis id | ospf id | rip id | static}
```

シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>bgp</i>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を表示します。
<i>direct</i>	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
<i>eigrp</i>	Enhanced IGRP (EIGRP) のポリシー統計情報を表示します。
<i>isis</i>	IS-IS ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<i>ospf</i>	OSPF のポリシー統計情報を表示します。
<i>rip</i>	RIP のポリシー統計情報を表示します。
<i>static</i>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を表示します。
<i>id</i>	bgp キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイトの番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイトの番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。 eigrp キーワードは、AS 番号です。範囲は 1 ~ 65535 です。 isis 、 ospf 、および rip キーワードは、ルートの再配布元であるインスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

再配布統計情報を表示するには、**show ip ospf policy statistics redistribute** コマンドを使用します。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、再配布ルートのポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip ospf policy statistics redistribute
```

show ip ospf request-list

ルータが要求した、すべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステートアドバタイズメント) のリストを表示するには、**show ip ospf request-list** コマンドを使用します。

show ip ospf request-list neighbor-id interface interface-number

シンタックスの説明	neighbor-id	interface-type	interface-number
	ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。	インターフェイス タイプ <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。	インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン OSPF ルーティング動作をトラブルシューティングするには、**show ip ospf request-list** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、ルータが要求したすべての LSA のリストを表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf request-list 40.40.40 ethernet 2/1
OSPF Process ID p1
Neighbor 40.40.40.40, interface Ethernet2/1, address 192.0.2.1
1 LSAs on request-list

Type  LS ID          ADV RTR          Seq NO          Age          Checksum
1    192.0.2.12      192.0.2.12      0x8000020D     8            0x6572
```

表 24 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 24 show ip ospf request-list フィールドの説明

フィールド	説明
Type	LSA タイプ
LS ID	ネイバー ルータの IP アドレス
ADV RTR	アドバタイズ ルータの IP アドレス
Seq NO	LSA のパケット シーケンス番号
Age	LSA の経過時間 (秒単位)
Checksum	LSA のチェックサム番号

show ip ospf retransmission-list

ネイバーへの再送信を待機する、すべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステートアドバタイズメント) のリストを表示するには、**show ip ospf retransmission-list** コマンドを使用します。

show ip ospf retransmission-list *neighbor-id* *interface* *interface-number*

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<i>neighbor-id</i>	ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。
	<i>interface-type</i>	インターフェイス タイプ <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。
	<i>interface-number</i>	インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン OSPF ルーティング動作をトラブルシューティングするには、**show ip ospf retransmission-list** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、ネイバーへの再送信を待機するすべての LSA を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf retransmission-list 192.0.2.11 ethernet 2/1

      OSPF Router with ID (192.0.2.12) (Process ID 1)

Neighbor 192.0.2.11, interface Ethernet2/1 address 209.165.201.11
Link state retransmission due in 3764 msec, Queue length 2

Type  LS ID          ADV RTR          Seq NO          Age          Checksum
  1   192.0.2.12      192.0.2.12      0x80000210      0           0xB196
```

表 25 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 25 show ip ospf retransmission-list フィールドの説明

フィールド	説明
Type	LSA タイプ
LS ID	ネイバー ルータの IP アドレス
ADV RTR	アドバタイズ ルータの IP アドレス
Seq NO	LSA のパケット シーケンス番号
Age	LSA の経過時間 (秒単位)
Checksum	LSA のチェックサム番号

show ip ospf routes

OSPF トポロジ テーブルを表示するには、**show ip ospf routes** コマンドを使用します。

```
show ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] routes [prefix/length | summary]
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>prefix /length</i>	(任意) IP プレフィクス。特定のルートへの出力を制限します。 <i>length</i> は、スラッシュ (/) と 1 ~ 31 の数で表示されます。たとえば、/8 は、IP プレフィクスの最初の 8 ビットがネットワーク ビットであることを示します。
<i>summary</i>	(任意) すべてのルートのサマリーを表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン OSPF プライベート ルーティング テーブル (OSPF によって計算されるルートのみを含む) を表示するには、**show ospf routes** コマンドを使用します。ルーティング情報ベース (RIB) 内のルートに異常がある場合、ルートの OSPF コピーをチェックして、RIB 内容と一致するかどうか判断してください。一致しない場合、OSPF と RIB の間に同期化問題があります。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、OSPF ルートを表示する例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show ip ospf routes
OSPF Process ID sd vrf default, Routing Table
(D) denotes route is directly attached (R) denotes route is in RIB
61.61.61.61/32 (i) area 1
    via 192.168.2.1/Ethernet2/2, cost 21
100.100.2.0/24 (i) area 1
    via 192.168.2.1/Ethernet2/22, cost 20
192.168.2.0/24 (i) area 1
    via directly connected
```

表 26 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 26 show ospf route フィールドの説明

フィールド	説明
61.61.61.61/32	このルートを実体化したルータのルータ ID
via...	特定のプレフィクス宛てのパケットは、表示されたインターフェイスで送信されるか、またはこのデバイスに直接接続されます。

show ip ospf statistics

OSPF Shortest Path First (SPF) 計算統計情報を表示するには、**show ip ospf statistics** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] statistics
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。最大 20 文字の英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) VRF の名前 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	任意
----------	----

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
---------------	----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン LSA に関する情報を表示するには、**show ip ospf statistics** コマンドを使用します。この情報は、OSPF ネットワークのメンテナンスとトラブルシューティング両方に役立ちます。たとえば、LSA フラッピングのトラブルシューティングの第一段階として **show ip ospf statistics** コマンドを使用することを推奨します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、SPF 計算に関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf statistics
OSPF Process p1 vrf default, Event statistics (cleared 2w3d ago)
  Router ID changes: 0
  DR elections: 50
  Older LSAs received: 16
  Neighbor state changes: 82
  Neighbor dead postponed: 0
  Neighbor dead interval expirations: 2
  Neighbor bad lsreqs: 0
  Neighbor sequence number mismatches: 0
  SPF computations: 101 full, 23 summary, 23 external
```

LSA Type	Generated	Refreshed	Flushed	Aged out
Router	41	1678	4	3
Network	12	2	15	1
Summary Net	53	6	120	6
Summary ASBR	0	0	0	0
AS External	0	0	0	0
Opaque Link	0	0	0	0
Opaque Area	0	0	0	0
Opaque AS	0	0	0	0

Following counters can not be reset:

```
LSA deletions: 0 pending, 14 hwm, 183 deleted, 14 revived, 27 runs
Hello queue: 0/200, hwm 2, drops 0
Flood queue: 0/100, hwm 2, drops 0
LSDB additions failed: 0
```

Buffers:	in use	hwm	permanent	alloc	free
128 bytes	0	2	2	350300	350300
512 bytes	0	2	2	114	114
1520 bytes	0	0	0	0	0
4500 bytes	0	1	1	355	355
huge	0	0	0	0	0

表 27 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 27 show ip ospf statistics フィールドの説明

フィールド	説明
OSPF process	設定内の OSPF インスタンスに割り当てられた一意な値
vrf	この OSPF インスタンスの VRF
DR elections	新しい代表ルータが選択された回数
Neighbor...	ネイバーの詳細
LSA Type	各タイプの LSA が送信された数
Hello queue	処理する hello パケットのキュー <ul style="list-style-type: none"> キュー内で許可されたキュー / 最大数のうちの現在の数 hwm — 最高水準点。キュー内に保存されていたパケットの最大数 drops — キューがいっぱいでドロップされたパケットの数
flood queue	処理するフラッドパケットのキュー
buffers	パケットの保存に使用するメモリ量

show ip ospf summary-address

OSPF インスタンスに設定されたすべてのサマリー アドレス再配布情報のリストを表示するには、**show ip ospf summary-address** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] summary-address
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」 および 「all」 文字列は予約済みの VRF 名です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、サマリー アドレスに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf summary-address

OSPF Process 2, Summary-address

10.2.0.0/255.255.0.0 Metric -1, Type 0, Tag 0
10.2.0.0/255.255.0.0 Metric -1, Type 0, Tag 10
```

表 28 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 28 show ip ospf summary-address フィールドの説明

フィールド	説明
10.2.0.0/255.255.0.0	OSPF プロセスのルータの IP アドレスおよびマスク
Metric -1	OSPF メトリック タイプ
Type 0	LSA のタイプ
Tag 0	OSPF プロセス タグの ID

show ip ospf traffic

OSPF トラフィック統計情報を表示するには、**show ip ospf traffic** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] traffic
```

シンタックスの説明	<i>instance-tag</i> (任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。				
	<i>vrf vrf-name</i> (任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	任意				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				

使用上のガイドライン 1 つまたは複数の OSPF インスタンスのトラフィック情報を表示するには、**show ip ospf traffic** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、OSPF トラフィック情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf traffic

OSPF Process ID p1, vrf Red, Packet Counters (cleared 2w3d ago)
Total: 1690 in, 349230 out
LSU transmissions: first 100, rxmit 108, for req 16
Flooding packets output throttled (IP/tokens): 0 (0/0)
Ignored LSAs: 0, LSAs dropped during SPF: 0
LSAs dropped during graceful restart: 0
Errors: drops in      0, drops out      0, errors in      0
        errors out    0, unknown in    0, unknown out    0
        no ospf       0, bad version  0, bad crc        0
        dup rid       0, dup src      0, invalid src    0
        invalid dst   0, no nbr       0, passive       0
        wrong area    0, nbr changed  0, rid/ip addr   0
        bad auth      0

                hellos      dbds      lsreqs      lsus      acks
In:              1411        70         16          136       57
Out:             348871      62          4           224       69
```

表 29 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 29 show ospf traffic フィールドの説明

フィールド	説明
OSPF Process	これらのトラフィック統計情報の OSPF インスタンス タグ
vrf	この OSPF インスタンスの VRF
エラー	
drops	ドロップされたパケットの数
bad version	間違ったバージョンで受信されたパケットの数
dup rid	重複したルータ ID のあるパケットの数
dup src	重複した送信元アドレスのあるパケットの数
no nbr	フル ネイバーではないルータからのパケットの数
nbr changed rid/ip addr	ネイバーの値と一致しないルータ ID/IP アドレスのペアのあるパケットの数
lsreq	タイプ LSREQ のパケットの数 (必要な LSA)
lsacks	タイプ LSACK のパケットの数 (確認応答された LSA)

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip ospf traffic	OSPF トラフィック統計情報をクリアします。

show ip ospf virtual-links

OSPF 仮想リンクのパラメータと現在のステータスを表示するには、**show ip ospf virtual-links** コマンドを使用します。

```
show ip ospf [instance-tag] [vrf vrf-name] virtual-links [brief]
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。特定の OSPF インスタンスに関する OSPF 情報を表示するのにこのタグを使用します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) OSPF VRF の名前。 <i>vrf-name</i> 引数には、任意の文字列で指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの <i>vrf-names</i> です。
brief	(任意) 設定済み仮想リンクのサマリーを表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 設定済み仮想リンクに関する情報を表示するには、**show ip ospf virtual-links** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、仮想リンクに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ip ospf virtual-links

Virtual link 2 to router 40.40.40.40 is up
  Process ID pl vrf default, Transit area 1, via interface Ethernet1/2, cost 10
  Local Address 192.0.2.2, Remote Address 192.0.2.1
  Index 4, Transmit delay 1 sec
  1 Neighbors, flooding to 1, adjacent with 1
  Timer intervals: hello 10, dead 40, wait 40, retransmit 5
    Hello timer due in 00:00:04
  No authentication
  Number of link LSAs: 0, checksum sum 0
  Neighbor State is FULL, 4 state changes, last change 00:00:03
  Hello options 0x2, dbd options 0x42
  Last non-hello packet received 00:00:01
    Dead timer due in 00:00:36
```

表 30 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 30 show ip ospf virtual-links フィールドの説明

フィールド	説明
Virtual Link	OSPF ネイバーと、そのネイバーへのリンクがアップまたはダウンであるかを示します。
vrf	この OSPF インスタンスの VRF
Transit area...	仮想リンクが形成される通過エリア
via interface...	仮想リンクが形成されるインターフェイス
cost	仮想リンクによって OSPF ネイバに到達するコスト
Transmit delay	仮想リンク上の送信遅延 (秒単位)
Timer intervals...	リンク用に設定された様々なタイマー間隔
Hello timer due in 0:00:04	次の hello をネイバーから送信する時間

show ip rip

RIP の設定およびステータスを表示するには、任意のモードで **show ip rip** コマンドを使用します。

```
show ip rip [vrf vrf-name] [instance-tag]
```

シンタックスの説明

<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>instance-tag</i>	(任意) RIP インスタンスを選択します。

デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次に、**show ip rip** コマンドの出力例を示します。

```
switch(config-if)# show ip rip
Process Name "rip-sd" vrf "default"
RIP port 520, multicast-group 224.0.0.9
Admin-distance: 40
Updates every 30 sec, expire in 180 sec
Collect garbage in 120 sec
Default-metric: 1
Max-paths: 8
Process is up and running
  Interfaces supported by ipv4 RIP :
    Ethernet1/2
```

表 31 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 31 show ip rip フィールドの説明

フィールド	説明
Process Name	RIP インスタンス タグ
Admin-distance	RIP に割り当てられた管理ディスタンス。ルータ アドレスファミリ コンフィギュレーション モードで distance コマンドを使用して、この値を設定できます。
Updates	RIP アップデートのタイマー値。インターフェイス コンフィギュレーション モードで ip rip timer basic コマンドを使用して、この値を設定できます。
expire	有効期限が満了する RIP アップデートのタイマー値。インターフェイス コンフィギュレーション モードで ip rip timer basic コマンドを使用して、この値を設定できます。
Collect garbage	RIP ルートテーブルのガーベージコレクトのタイマー値。インターフェイス コンフィギュレーション モードで ip rip timer basic コマンドを使用して、この値を設定できます。
Default metric	デフォルトのメトリック値。ルータ アドレスファミリ モードで default-metric コマンドを使用して、この値を設定します。
Max-paths	RIP ルート単位で許可された最大パスの数。ルータ アドレスファミリ モードで max-paths コマンドを使用して、この値を設定します。
Process	この RIP インスタンスの管理および動作ステート
Interfaces supported	RIP バージョン、およびこの RIP インスタンス用に設定されたインターフェイスのリスト。インターフェイス コンフィギュレーション モードで ip router rip コマンドを使用して、インターフェイスを追加または削除します。

関連コマンド

コマンド	説明
show ip rip interface	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
show ip rip neighbor	RIP ネイバー情報を表示します。
show ip rip policy statistics	RIP ポリシー統計情報を表示します。
show ip rip route	RIP ルート情報を表示します。
show ip rip statistics	RIP 統計情報を表示します。

show ip policy

ルート ポリシー情報を表示するには、show ip policy コマンドを使用します。

```
show ip policy [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	vrf vrf-name (任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
------------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンド モード	任意
-----------------	----

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
----------------------	----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

例	次の例では、インターフェイスに付加されたポリシーを示します。
----------	--------------------------------

```
switch(config-if)# show ip policy
Interface           Route-map           Status   VRF-Name
Ethernet2/45        floor1              Inactive --
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ip policy	インターフェイスにルート ポリシーを設定します。

show ip prefix-list

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のプレフィクス リストを表示するには、**show ip prefix-list** コマンドを使用します。

```
show ip prefix-list [name]
```

シンタックスの説明	<i>name</i> (任意) コミュニティ リストの名前。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
------------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
----------------------	---

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

例	次の例では、プレフィクス リストを示します。
----------	------------------------

```
switch(config)# show ip prefix-list
ip prefix-list test2: 1 entries
    seq 5 permit 10.0.0.0/8
```

関連コマンド	コマンド 説明
	ip prefix-list BGP プレフィクス リストを設定します。

show ip process

IP プロセスに関する情報を表示するには、**show ip process** コマンドを使用します。

```
show ip process [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	vrf vrf-name (任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
------------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンド モード	任意
-----------------	----

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
----------------------	----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
4.0(1)		このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

例	次の例では、IP プロセスに関する詳細を示します。
----------	---------------------------

```
switch(config)# show ip process
VRF default
  VRF id is 1
  Base table id is 1
  Auto discard is disabled
  Auto discard is not added
  Auto Null broadcast is configured
  Auto Punt broadcast is configured
  Static discard is not configured
  Number of static default route configured is 0
  Number of ip unreachable configured is 0
  Iodlist: 80
  Local address list:
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 process	IPv6 プロセスに関する情報を表示します。

show ip rip interface

RIP トポロジ テーブルからインターフェイス エントリ情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip interface** コマンドを使用します。

```
show ip rip [vrf vrf-name] interface [type instance]
```

シンタックスの説明

vrf vrf-name	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
interface type slot/port	(任意) インターフェイスを指定します。

デフォルト

このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンド モード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次に、**show ip rip interface** コマンドの出力例を示します。

```
switch(config-if)# show ip rip interface ethernet 1/2
Process Name "rip-sd" vrf "default"
RIP-configured interface information

GigabitEthernet1/2, protocol-down/link-down/admin-down, RIP state : down
address/mask NotConfigured, metric 1, split-horizon
```

表 32 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 32 show ip rip interface フィールドの説明

フィールド	説明
Process Name	RIP インスタンス タグ
vrf	このインターフェイスの VRF
Interface information	インターフェイス管理および動作ステート
RIP state	このインターフェイスの RIP 情報

関連コマンド

コマンド	説明
<i>show ip rip</i>	RIP 情報を表示します。
<i>show ip rip neighbor</i>	RIP ネイバー情報を表示します。
<i>show ip rip policy statistics</i>	RIP ポリシー統計情報を表示します。
<i>show ip rip route</i>	RIP ルート情報を表示します。
<i>show ip rip statistics</i>	RIP 統計情報を表示します。

show ip rip neighbor

RIP トポロジ テーブルからネイバー情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip neighbor** コマンドを使用します。

```
show ip } rip [vrf vrf-name] neighbor [interface-type instance]
```

シンタックスの説明	
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
<i>instance</i>	(任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス

デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード 任意

サポートされるユーザ ロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次に、**show ip rip neighbor** コマンドの出力例を示します。

```
switch(config-if)# show ip rip neighbor
Process Name "rip-sd" vrf "default"
RIP Neighbor Information (number of neighbors = 0)
('dead' means more than 300 seconds ago)
```

表 33 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 33 show ip rip neighbor フィールドの説明

フィールド	説明
Process Name	RIP インスタンス タグ
vrf	このインターフェイスの VRF
Neighbor information	このインターフェイスで認識された RIP ネイバーの数

関連コマンド

コマンド	説明
<i>show ip rip</i>	RIP 情報を表示します。
<i>show ip rip interface</i>	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
<i>show ip rip policy statistics</i>	RIP ポリシー統計情報を表示します。
<i>show ip rip route</i>	RIP ルート情報を表示します。
<i>show ip rip statistics</i>	RIP 統計情報を表示します。

show ip rip policy statistics

RIP のポリシー統計情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip policy statistics** コマンドを使用します。

```
show ip rip [vrf vrf-name] policy statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | isis id | ospf id | ospfv3 id | static}
```

シンタックスの説明

<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>bgp</i>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を表示します。
<i>direct</i>	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
<i>eigrp</i>	Enhanced IGRP (EIGRP) のポリシー統計情報を表示します。
<i>isis</i>	IS-IS ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<i>ospf</i>	OSPF プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<i>ospfv3</i>	OSPF バージョン 3 (OSPFv3) プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<i>static</i>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を表示します。
<i>id</i>	<p>bgp キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイトの番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイトの番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。</p> <p>eigrp キーワードは、ルートの再配布元である EIGRP インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p> <p>isis キーワードは、ルートの再配布元である IS-IS インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p> <p>ospf キーワードは、ルートの再配布元である OSPF インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p>

デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次に、EIGRP のポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip rip policy statistics redistribute eigrp 201
```

関連コマンド

コマンド	説明
<i>clear ip rip policy statistics</i>	RIP のポリシー統計情報をクリアします。
<i>show ip rip</i>	RIP 情報を表示します。
<i>show ip rip interface</i>	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
<i>show ip rip neighbor</i>	ネイバーの RIP 情報を表示します。
<i>show ip rip route</i>	RIP ルート情報を表示します。
<i>show ip rip statistics</i>	RIP 統計情報を表示します。

show ip rip route

RIP トポロジテーブルからルート情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip route** コマンドを使用します。

```
show ip rip [vrf vrf-name] route [prefix/length] [summary]
```

シンタックスの説明	
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>prefix /length</i>	(任意) ルーティング情報を表示する IP または IPv6 プレフィクス
<i>summary</i>	(任意) 集約経路に関する情報を表示します。

デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード 任意

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次に、**show ip rip route** コマンドの出力例を示します。

```
:switch# show ip rip route
```

表 34 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 34 show ip rip route フィールドの説明

フィールド	説明

関連コマンド	コマンド	説明
	<i>show ip rip</i>	RIP 情報を表示します。
	<i>show ip rip interface</i>	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
	<i>show ip rip neighbor</i>	ネイバーの RIP 情報を表示します。
	<i>show ip rip policy statistics</i>	RIP のポリシー統計情報を表示します。
	<i>show ip rip statistics</i>	RIP 統計情報を表示します。

show ip rip statistics

RIP トポロジ テーブルから統計エントリ情報を表示するには、任意のモードで **show ip rip statistics** コマンドを使用します。

```
show ip rip [vrf vrf-name] statistics [interface-type instance]
```

シンタックスの説明	vrf <i>vrf-name</i> (任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
	interface-type (任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
	instance (任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス

コマンドのデフォルト設定 デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード 任意

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次に、**show ip rip statistics** コマンドの出力例を示します。

```
switch# show ip rip statistics
Global update stats:
  Sent Multicast Updates: periodic 0,triggered 0
  Sent Multicast Requests: 0
  Sent Unicast Updates: 544
  Sent Unicast Requests: 544
  Recv Multicast Updates: 0
  Recv Multicast Requests: 0
  Recv Unicast Updates: 500
  Recv Unicast Requests: 544
  Recv Bad Pkts: 0
  Recv Bad Routes: 0
```

表 35 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 35 show ip statistics フィールドの説明

フィールド	説明
Sent Multicast Updates:	送信された RIP マルチキャストアップデートの数
Sent Multicast Requests:	送信された RIP マルチキャスト要求の数
Sent Unicast Updates:	送信された RIP ユニキャストアップデートの数
Sent Unicast Requests:	送信された RIP ユニキャスト要求の数
Recv Multicast Updates:	受信された RIP マルチキャストアップデートの数
Recv Multicast Requests:	受信された RIP マルチキャスト要求の数
Recv Unicast Updates:	受信された RIP ユニキャストアップデートの数
Recv Unicast Requests:	受信された RIP ユニキャスト要求の数
Recv Bad Pkts:	受信された不良 RIP パケットの数
Recv Bad Routes:	受信された不良 RIP ルートの数

関連コマンド

コマンド	説明
<i>show ip rip</i>	RIP 情報を表示します。
<i>show ip rip interface</i>	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
<i>show ip rip neighbor</i>	ネイバーの RIP 情報を表示します。
<i>show ip rip policy statistics</i>	RIP のポリシー統計情報を表示します。
<i>show ip rip route</i>	RIP ルート情報を表示します。

show ip route

ユニキャスト RIB からルートを表示するには、**show ip route** コマンドを使用します。

```
show ip route [all | route-type | interface type number | next-hop addr] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
all	(任意) すべてのルートを表示します。
route-type	(任意) ルート タイプ。タイプのリストを表示するには、 ? を使用します。
interface type number	(任意) インターフェイスのルートを表示します。サポートされるインターフェイスを表示するには、 ? を使用します。
next-hop addr	(任意) このネクストホップ アドレスのあるルートを表示します。フォーマットは、x.x.x.x です。
vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、ルート テーブルを示します。

```
switch(config)# show ip route all
IP Route Table for VRF "default"
'*' denotes best ucast next-hop      '*' denotes best mcast next-hop
'[x/y]' denotes [preference/metric]

0.0.0.0/32, 1 ucast next-hops, 0 mcast next-hops
  *via Null0, [220/0], 00:45:24, local, discard
255.255.255.255/32, 1 ucast next-hops, 0 mcast next-hops
  *via sup-eth1, [0/0], 00:45:24, local
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear ip route	ルート テーブルのエントリをクリアします。

show ip static-route

ユニキャスト RIB からスタティック ルートを表示するには、**show ip static-route** コマンドを使用します。

```
show ip static-route [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	vrf vrf-name (任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
------------------	---

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
----------------------	---

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

例	次の例では、スタティック ルートを示します。
----------	------------------------

```
switch(config)# show ip static-route
IPv4 Unicast Static Routes:

Total number of routes: 0, unresolved: 0
```

関連コマンド	コマンド 説明
	ip route スタティック ルートを設定します。

show ip traffic

IP トラフィック情報を表示するには、**show ip traffic** コマンドを使用します。

show ip traffic

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、IP トラフィック情報を示します。

```
switch(config)# show ip traffic

IP Software Processed Traffic Statistics
-----
Transmission and reception:
  Packets received: 14121, sent: 3415, consumed: 0,
  Forwarded, unicast: 0, multicast: 0, Label: 0
Opts:
  end: 0, nop: 0, basic security: 0, loose source route: 0
  timestamp: 0, extended security: 0, record route: 0
  stream ID: 0, strict source route: 0, alert: 45, cipso: 0, ump: 0
  other: 0
Errors:
  Bad checksum: 0, packet too small: 0, bad version: 0,
  Bad header length: 0, bad packet length: 0, bad destination: 0,
  Bad ttl: 0, could not forward: 126, no buffer dropped: 0,
  Bad encapsulation: 0, no route: 0, non-existent protocol: 0
Fragmentation/reassembly:
  Fragments received: 0, fragments sent: 0, fragments created: 0,
  Fragments dropped: 0, packets with DF: 0, packets reassembled: 0,
  Fragments timed out: 0

ICMP Software Processed Traffic Statistics
-----
Transmission:
  Redirect: 0, unreachable: 0, echo request: 0, echo reply: 1,
  Mask request: 0, mask reply: 0, info request: 0, info reply: 0,
  Parameter problem: 0, source quench: 0, timestamp: 0,
  Timestamp response: 0, time exceeded: 0,
  Irdp solicitation: 0, irdp advertisement: 0
Reception:
  Redirect: 0, unreachable: 337, echo request: 1, echo reply: 0,
  Mask request: 0, mask reply: 0, info request: 0, info reply: 0,
  Parameter problem: 0, source quench: 0, timestamp: 0,
  Timestamp response: 0, time exceeded: 0,
  Irdp solicitation: 0, irdp advertisement: 0,
  Format error: 0, checksum error: 0

Statistics last reset: never
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip process	IP プロセスに関する情報を表示します。

show ipv6 adjacency

隣接情報を表示するには、**show ipv6 adjacency** コマンドを使用します。

show ipv6 adjacency [*ipv6-addr* | *interface*] [**detail**] [**non-best**] [**statistics**] [**summary**] [*vrf vrf-name*]

シンタックスの説明

<i>ipv6-addr</i>	(任意) IPv6 送信元アドレス。フォーマットは A:B::C:D です。
<i>interface</i>	(任意) インターフェイス。サポートされたインターフェイス タイプを判断するには ? を使用します。
detail	(任意) 詳細な隣接情報を表示します。
statistics	(任意) 隣接統計情報を表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、隣接情報のサマリーを示します。

```
switch# show ipv6 adjacency summary
IPv6 Adjacency Table for VRF default
Total number of entries: 0
Address          Age          MAC Address   Pref Source   Interface
```

関連コマンド

コマンド	説明
show forwarding adjacency	転送隣接情報を示します。

show ipv6 bgp

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) テーブルのエントリを表示するには、**show ipv6 bgp** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp [ipv6-addr | ipv6-prefix [longer-prefixes]] [received-paths] [regex expression]
[route-map map-name] [summary] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>ipv6-addr</i>	(任意) BGP ルート テーブルからのネットワーク。フォーマットは A:B::C:D です。
<i>ipv6-prefix</i>	(任意) BGP ルート テーブルからのプレフィクス。フォーマットは A:B::C:D/length です。
longer-prefixes	(任意) プレフィクスと特定のルートを示します。
received-paths	(任意) ソフトリコンフィギュレーション用に保存されたパスを表示します。
regex expression	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
route-map map-name	(任意) ルートマップと一致するルートを表示します。マップ名は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
summary	(任意) ルートのサマリーを表示します。
vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、BGP ルート テーブルを示します。

```
switch(config-router)# show ipv6 bgp
BGP routing table information for VRF default, address family IPv6 Unicast
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear bgp	BGP ルート テーブルのエントリをクリアします。

show ipv6 bgp community

コミュニティと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ipv6 bgp community** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp community [as-number] [internet] [no-advertise] [no-export] [no-export-subconfed]
[exact-match] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明

<i>as-number</i>	AS 番号。AS 番号は、<上位 16 ビットの 10 進数>.<下位 16 ビットの 10 進数>形式の 16 ビットの整数または 32 ビットの整数です。
internet	(任意) インターネット コミュニティを表示します。
no-advertise	(任意) no-advertise コミュニティを表示します。
no-export	(任意) no-export コミュニティを表示します。
no-export-subconfed	(任意) no-export-subconfed コミュニティを表示します。
exact-match	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、コミュニティと一致するルートを示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp community
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip community-list	コミュニティ リストを作成します。

show ipv6 bgp community-list

コミュニティ リストと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ipv6 bgp community-list** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp [community-list commlist-name [exact-match]] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	<p>community-list <i>commlist-name</i> コミュニティ リストと一致するルートを表示します。 <i>commlist-name</i> は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。</p> <p>exact-match (任意) コミュニティの完全一致を表示します。</p>				
デフォルト	なし				
コマンド モード	任意のコマンド モード				
サポートされるユーザ ロール	ネットワーク 管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。				
例	次の例では、コミュニティ リストと一致するルートを示します。 <pre>switch(config)# show ipv6 bgp community-list test1</pre>				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ip community-list</td> <td>コミュニティ リストを作成します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	ip community-list	コミュニティ リストを作成します。
コマンド	説明				
ip community-list	コミュニティ リストを作成します。				

show ipv6 bgp dampening

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ダンプニング情報を表示するには、**show ipv6 bgp dampening** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp dampening {dampened-paths [regex expression] | flap-statistics | history-paths
[regex expression] | parameters} [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明

dampened-paths	ダンプニングされたパスをすべて表示します。
regex expression	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
flap-statistics	ルートの統計情報を表示します。
history-paths	履歴パスをすべて表示します。
parameters	ダンプニングパラメータをすべて表示します。
vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、ダンプニング情報を示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp dampening dampened-paths
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip bgp dampening	BGP ダンプニング情報を表示します。

show ipv6 bgp filter-list

フィルタ リストと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ipv6 bgp filter-list** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp filter-list list-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>list-name</i>	フィルタ リストの名前。commist-name は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
exact-match	(任意) フィルタの完全一致を表示します。
vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、フィルタ リストと一致するルートを示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp filter-list test1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ip bgp filter-list	フィルタ リストと一致する BGP ルートを表示します。

show ipv6 bgp flap-statistics

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) フラップ統計情報を表示するには、**show ipv6 bgp flap-statistics** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp flap-statistics [prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	<i>prefix</i> (任意) IPv6 プレフィクス。フォーマットは A:B::C:D/length です。 <i>vrf vrf-name</i> (任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	任意のコマンドモード				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>4.0(1)</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。				
例	次の例では、フラップ統計情報を示します。 <pre>switch(config)# show ipv6 bgp flap-statistics</pre>				
関連コマンド	<table><thead><tr><th>コマンド</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>show ip bgp</td><td>BGP 情報を表示します。</td></tr></tbody></table>	コマンド	説明	show ip bgp	BGP 情報を表示します。
コマンド	説明				
show ip bgp	BGP 情報を表示します。				

show ipv6 bgp history-paths

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) 履歴パスを表示するには、**show ipv6 bgp history-paths** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp history-paths [regexp expression] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	regexp expression	(任意) 正規表現と一致する情報を表示します。
	vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、BGP 履歴パス情報を示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp history-paths
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ip bgp history-paths	BGP 履歴パス情報を表示します。

show ipv6 bgp neighbors

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネイバーを表示するには、**show ipv6 bgp neighbors** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp neighbors [addr | prefix] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明

<i>addr</i>	IPv6 アドレス。フォーマットは A:B::C:D です。
<i>prefix</i>	(任意) IPv6 プレフィクス。フォーマットは A:B::C:D/length です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

ネットワーク 管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、BGP ネイバーを示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp neighbors
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ip bgp neighbors	BGP 情報を表示します。

show ipv6 bgp nexthop

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクストホップ情報を表示するには、**show ipv6 bgp nexthop** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp nexthop addr [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>addr</i>	IPv4 アドレス。フォーマットは A:B::C:D です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、BGP ネクストホップ情報を示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp nexthop 2001:0DB8::1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ip bgp nexthop	BGP 情報を表示します。

show ipv6 bgp nexthop-database

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ネクストホップ データベースを表示するには、**show ipv6 bgp nexthop-database** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp nexthop-database [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	vrf vrf-name (任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
------------------	---

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
----------------------	---

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

例	次の例では、BGP ネクストホップ データベースを示します。 switch(config)# show ipv6 bgp nexthop-database
----------	---

関連コマンド	<table><thead><tr><th>コマンド</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>show ip bgp nexthop-database</td><td>BGP 情報を表示します。</td></tr></tbody></table>	コマンド	説明	show ip bgp nexthop-database	BGP 情報を表示します。
コマンド	説明				
show ip bgp nexthop-database	BGP 情報を表示します。				

show ipv6 bgp prefix-list

プレフィクスリストと一致する Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) ルートを表示するには、**show ipv6 bgp prefix-list** コマンドを使用します。

```
show ipv6 bgp prefix-list list-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>list-name</i>	プレフィクスリストの名前。commlist-name は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
exact-match	(任意) フィルタの完全一致を表示します。
vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、プレフィクスリストと一致するルートを示します。

```
switch(config)# show ipv6 bgp prefix-list test1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ip bgp prefix-list	プレフィクスリストと一致する BGP ルートを表示します。

show ipv6 client

内部 IPv6 クライアントに関する情報を表示するには、**show ipv6 client** コマンドを使用します。

show ipv6 client [*name*]

シンタックスの説明	<i>name</i> (任意) クライアントの名前				
デフォルト	なし				
コマンドモード	任意のコマンドモード				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>4.0(1)</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。				
例	次の例では、ICMPv6 の IPv6 クライアント情報を示します。 <pre>switch(config-if)# show ipv6 client icmpv6 IPv6 Registered Client Status Client: icmpv6, status: up, pid: 3688, extended pid: 3688 Protocol: 58, pib-index: 2, routing context id: 255 Control mts SAP: 1551 Data mts SAP: 1552 IPC messages to control mq: 3 IPC messages to data mq: 0</pre>				
関連コマンド	<table><thead><tr><th>コマンド</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>show ipv6 process</td><td>IPv6 プロセスに関する情報を表示します。</td></tr></tbody></table>	コマンド	説明	show ipv6 process	IPv6 プロセスに関する情報を表示します。
コマンド	説明				
show ipv6 process	IPv6 プロセスに関する情報を表示します。				

show ipv6 fragments

キューイングされた IPv6 フラグメントに関する情報を表示するには、**show ipv6 fragments** コマンドを使用します。

```
show ipv6 fragments [ipv6-addr]
```

シンタックスの説明	<i>name</i> (任意) IPv6 アドレス。フォーマットは A:B::C:D です。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	任意のコマンドモード				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。				
例	<p>次の例では、IPv6 フラグメントを示します。</p> <pre>switch(config-if)# show ipv6 fragments No IPv6 fragments queued</pre>				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>show ipv6 process</td> <td>IPv6 プロセスに関する情報を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	show ipv6 process	IPv6 プロセスに関する情報を表示します。
コマンド	説明				
show ipv6 process	IPv6 プロセスに関する情報を表示します。				

show ipv6 icmp interface

ICMPv6 に関する情報を表示するには、**show ipv6 icmp interface** コマンドを使用します。

```
show ipv6 icmp interface [type number] [detail] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明

<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。サポートされたインターフェイスのリストを表示するには、 ? を使用します。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。範囲を表示するには、 ? を使用します。
<i>detail</i>	(任意) 詳細な ICMPv6 情報を表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、ICMPv6 情報を示します。

```
switch(config-if)# show ipv6 icmp interface
```

関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 icmp	インターフェイスに ICMPv6 を設定します。

show ipv6 interface

インターフェイスの IPv6 情報を表示するには、**show ipv6 interface** コマンドを使用します。

```
show ipv6 interface [type number] [brief][vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。オプションを表示するには、? を使用します。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。範囲を表示するには、? を使用します。
brief	(任意) IP 情報のサマリーを表示します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、インターフェイス Ethernet 2/1 の IPv6 情報を示します。

```
switch# show ipv6 interface ethernet 2/1
Ethernet2/1, Interface status: protocol-down/link-down/admin-down, iod: 80
Context:"default"
IPv6 address: 2001:0db8:0000:0000:0000:0000:0000:0001
IPv6 subnet: 2001:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000/16
IPv6 link-local address: fe80::0218:baff:fed8:3ffd (default)
IPv6 multicast routing: disabled
IPv6 multicast groups locally joined:
    ff02::0001:ff00:0001 ff02::0002 ff02::0001 ff02::0001:ffd8:3ffd
IPv6 multicast (S,G) entries joined: none
IPv6 MTU: 1500 (using link MTU)
IPv6 RP inbound packet-filtering policy: none
IPv6 RP outbound packet-filtering policy: none
IPv6 inbound packet-filtering policy: none
IPv6 outbound packet-filtering policy: none
IPv6 interface statistics last reset: never
IPv6 interface RP-traffic statistics: (forwarded/originated/consumed)
    Unicast packets:      0/0/0
    Unicast bytes:       0/0/0
    Multicast packets:   0/0/0
    Multicast bytes:     0/0/0
IPv6 interface hardware statistics not available
Reason: unsupported platform
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ip interface	インターフェイスの IP 情報を表示します。

show ipv6 mbgp

Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP) テーブルのエントリを表示するには、**show ipv6 mbgp** コマンドを使用します。

```
show ipv6 mbgp [ipv6-addr | ipv6-prefix [longer-prefixes]] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>ipv6-addr</i>	(任意) MBGP ルート テーブルからのネットワーク。フォーマットは A:B::C:D です。
<i>ipv6-prefix</i>	(任意) MBGP ルート テーブルからのプレフィクス。フォーマットは A:B::C:D/length です。
longer-prefixes	(任意) プレフィクスと特定のルートを示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール ネットワーク 管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、MBGP ルート テーブルを示します。

```
switch(config-router)# show ipv6 mbgp
BGP routing table information for VRF default, address family IPv6 Multicast
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear ip mbgp	MBGP ルート テーブルのエントリをクリアします。

show ipv6 mbgp community

コミュニティと一致する Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP) ルートを表示するには、**show ipv6 mbgp community** コマンドを使用します。

```
show ipv6 mbgp community [as-number] [no-advertise] [no-export] [no-export-subconfed]
[exact-match]} [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明

<i>as-number</i>	AS 番号。AS 番号は、<上位 16 ビットの 10 進数><下位 16 ビットの 10 進数>形式の 16 ビットの整数または 32 ビットの整数です。
no-advertise	(任意) no-advertise コミュニティを表示します。
no-export	(任意) no-export コミュニティを表示します。
no-export-subconfed	(任意) no-export-subconfed コミュニティを表示します。
exact-match	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、コミュニティと一致するルートを示します。

```
switch(config)# show ipv6 mbgp community
```

関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 community-list	コミュニティ リストを作成します。

show ipv6 mbgp community-list

コミュニティ リストと一致する Multiprotocol Border Gateway Protocol (MBGP) ルートを表示するには、**show ipv6 mbgp community-list** コマンドを使用します。

```
show ipv6 mbgp community-list commlist-name [exact-match] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明

community-list <i>commlist-name</i>	コミュニティ リストと一致するルートを表示します。 <i>commlist-name</i> は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
exact-match	(任意) コミュニティの完全一致を表示します。
vrf <i>vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、コミュニティ リストと一致するルートを示します。

```
switch(config)# show ip v6mbgp community-list test1
```

関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 community-list	コミュニティ リストを作成します。

show ipv6 nd interface

近隣探索（ND）に関する情報を表示するには、**show ipv6 nd interface** コマンドを使用します。

show ipv6 nd interface [*type number*] [*detail*] [*vrf vrf-name*]

シンタックスの説明

<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。サポートされたインターフェイスのリストを表示するには、 ? を使用します。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。範囲を表示するには、 ? を使用します。
<i>detail</i>	(任意) 詳細な ND 情報を表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、ND 情報を示します。

```
switch(config-if)# show ipv6 nd interface
ICMPv6 ND Interfaces for VRF "default"
Ethernet2/45, Interface status: protocol-down/link-down/admin-down
IPv6 address: 2001:0db8:0000:0000:0000:0000:0000:0001
ICMPv6 active timers:
  Last Neighbor-Solicitation sent: never
  Last Neighbor-Advertisement sent: never
  Last Router-Advertisement sent: never
  Next Router-Advertisement sent in: 0.000000
Router-Advertisement parameters:
  Periodic interval: 200 to 600 seconds
  Send "Managed Address Configuration" flag: false
  Send "Other Stateful Configuration" flag: false
  Send "Current Hop Limit" field: 64
  Send "MTU" option value: 1500
  Send "Router Lifetime" field: 1800 secs
  Send "Reachable Time" field: 0 ms
  Send "Retrans Timer" field: 0 ms
Neighbor-Solicitation parameters:
  NS retransmit interval: 1000 ms
ICMPv6 error message parameters:
  Send redirects: true
  Send unreachable: false
```

関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 nd	インターフェイスに ICMPv6 ND を設定します。

show ipv6 neighbor

IPv6 ネイバーを表示するには、**show ipv6 neighbor** コマンドを使用します。

```
show ipv6 neighbor [type number] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明

<i>type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。サポートされたインターフェイスのリストを表示するには、 ? を使用します。
<i>number</i>	(任意) インターフェイス番号。範囲を表示するには、 ? を使用します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
 ネットワーク オペレータ
 VDC 管理者
 VDC オペレータ

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

IPv6 隣接関係テーブルを表示するには、**show ipv6 neighbor** コマンドを使用します。

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、IPv6 ネイバーを示します。

```
switch# show ipv6 neighbor

IPv6 Adjacency Table for VRF default
Total number of entries: 0
Address          Age          MAC Address      Pref Source      Interface
```

関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 nd	インターフェイスに ICMPv6 ND を設定します。

show ipv6 prefix-list

Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のプレフィクス リストを表示するには、**show ipv6 prefix-list** コマンドを使用します。

```
show ipv6 prefix-list [name]
```

シンタックスの説明	<i>name</i> (任意) コミュニティ リストの名前。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
------------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
----------------------	---

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

例	次の例では、プレフィクス リストを示します。
----------	------------------------

```
switch(config)# show ipv6 prefix-list
ip prefix-list test2: 1 entries
   seq 5 permit 2001:0DB8::/8
```

関連コマンド	コマンド 説明
	ipv6 prefix-list BGP プレフィクス リストを設定します。

show ip process

IPv6 プロセスに関する情報を表示するには、**show ip process** コマンドを使用します。

```
show ipv6 process [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	vrf vrf-name (任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
------------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンド モード	任意
-----------------	----

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
----------------------	----------------------

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

例	次の例では、IPv6 プロセスに関する詳細を示します。
----------	-----------------------------

```
switch(config)# show ip process
VRF default
  VRF id is 1
  Auto discard is disabled
  Auto discard is not added
  Static discard is not configured
  Number of static default route configured is 0
  Number of ipv6 unreachable configured is 0
  Iodlist: 80
  Local address list: 2001:0db8::0001 fe80::0218:baff:fed8:3ffd
```

関連コマンド	コマンド 説明
	show ip process IPv4 プロセスに関する情報を表示します。

show ipv6 rip

RIP の設定およびステータスを表示するには、任意のモードで **show ipv6 rip** コマンドを使用します。

```
show ipv6 rip [vrf vrf-name] [instance-tag]
```

シンタックスの説明	vrf vrf-name (任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
	instance-tag (任意) RIP インスタンスを選択します。

デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次に、**show ipv6 rip** コマンドの出力例を示します。

```
switch(config-if)# show ipv6 rip
Process Name "rip-sd" vrf "default"
RIP port 521, multicast-group ff02::0009
Admin-distance: 40
Updates every 30 sec, expire in 180 sec
Collect garbage in 120 sec
Default-metric: 1
Max-paths: 8
Process is up and running
  Interfaces supported by ipv6 RIP:
    Ethernet1/2
```

表 36 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 36 show ipv6 rip フィールドの説明

フィールド	説明
Process Name	RIP インスタンス タグ
Admin-distance	RIP に割り当てられた管理ディスタンス。ルータ アドレスファミリー コンフィギュレーション モードで distance コマンドを使用して、この値を設定できます。
Updates	RIP アップデートのタイマー値。インターフェイス コンフィギュレーション モードで ip rip timer basic コマンドを使用して、この値を設定できます。
expire	有効期限が満了する RIP アップデートのタイマー値。インターフェイス コンフィギュレーション モードで ip rip timer basic コマンドを使用して、この値を設定できます。
Collect garbage	RIP ルート テーブルで不要なデータを収集するためのタイマー値。インターフェイス コンフィギュレーション モードで ip rip timer basic コマンドを使用して、この値を設定できます。
Default metric	デフォルトのメトリック値。ルータ アドレスファミリー モードで default-metric コマンドを使用して、この値を設定します。
Max-paths	RIP ルート単位で許可された最大パスの数。ルータ アドレスファミリー モードで max-paths コマンドを使用して、この値を設定します。
Process	この RIP インスタンスの管理および動作ステート
Interfaces supported	RIP バージョン、およびこの RIP インスタンス用に設定されたインターフェイスのリスト。インターフェイス コンフィギュレーション モードで ip router rip コマンドを使用して、インターフェイスを追加または削除します。

関連コマンド

コマンド	説明
show ipv6 rip interface	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
show ipv6 rip neighbor	RIP ネイバー情報を表示します。
show ipv6 rip policy statistics	RIP ポリシー統計情報を表示します。
show ipv6 rip route	RIP ルート情報を表示します。
show ipv6 rip statistics	RIP 統計情報を表示します。

show ipv6 rip interface

RIP トポロジ テーブルからインターフェイス エントリ情報を表示するには、任意のモードで **show ipv6 rip interface** コマンドを使用します。

```
show ipv6 rip [vrf vrf-name] interface [type instance]
```

シンタックスの説明	説明
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>interface type slot/port</i>	(任意) インターフェイスを指定します。

デフォルト このコマンドにはデフォルト設定がありません。

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次に、**show ipv6 rip interface** コマンドの出力例を示します。

```
switch(config-if)# show ipv6 rip interface ethernet 1/2
Process Name "rip-sd" vrf "default"
RIP-configured interface information

GigabitEthernet1/2, protocol-down/link-down/admin-down, RIP state: down
address/mask NotConfigured, metric 1, split-horizon
```

表 37 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 37 show ipv6 rip interface フィールドの説明

フィールド	説明
Process Name	RIP インスタンス タグ
vrf	このインターフェイスの VRF
Interface information	インターフェイス管理および動作ステート
RIP state	このインターフェイスの RIP 情報

関連コマンド	コマンド	説明
	<i>show ipv6 rip</i>	RIP 情報を表示します。
	<i>show ipv6 rip neighbor</i>	RIP ネイバー情報を表示します。
	<i>show ipv6 rip policy statistics</i>	RIP ポリシー統計情報を表示します。
	<i>show ipv6 rip route</i>	RIP ルート情報を表示します。
	<i>show ipv6 rip statistics</i>	RIP 統計情報を表示します。

show ipv6 rip neighbor

RIP トポロジテーブルからネイバー情報を表示するには、任意のモードで **show ipv6 rip neighbor** コマンドを使用します。

```
show ipv6 rip [vrf vrf-name] neighbor [interface-type instance]
```

シンタクスの説明	
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
<i>instance</i>	(任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス

デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次に、**show ipv6 rip neighbor** コマンドの出力例を示します。

```
switch(config-if)# show ipv6 rip neighbor
Process Name "rip-sd" vrf "default"
RIP Neighbor Information (number of neighbors = 0)
('dead' means more than 300 seconds ago)
```

表 38 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 38 show ipv6 rip neighbor フィールドの説明

フィールド	説明
Process Name	RIP インスタンス タグ
vrf	このインターフェイスの VRF
Neighbor information	このインターフェイスで認識された RIP ネイバーの数

関連コマンド	コマンド	説明
	<i>show ipv6 rip</i>	RIP 情報を表示します。
	<i>show ipv6 rip interface</i>	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
	<i>show ipv6 rip policy statistics</i>	RIP ポリシー統計情報を表示します。
	<i>show ipv6 rip route</i>	RIP ルート情報を表示します。
	<i>show ipv6 rip statistics</i>	RIP 統計情報を表示します。

show ipv6 rip policy statistics

RIP のポリシー統計情報を表示するには、任意のモードで **show ipv6 rip policy statistics** コマンドを使用します。

```
show ipv6 rip [vrf vrf-name] policy statistics redistribute {bgp id | direct | eigrp id | isis id | ospf id | ospfv3 id | static}
```

シンタックスの説明

vrf vrf-name	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
bgp	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を表示します。
direct	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
eigrp	Enhanced IGRP (EIGRP) のポリシー統計情報を表示します。
isis	IS-IS ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
ospf	OSPF プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
ospfv3	OSPF バージョン 3 (OSPFv3) プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
static	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を表示します。
id	<p>bgp キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイトの番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイトの番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。</p> <p>eigrp キーワードは、ルートの再配布元である EIGRP インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p> <p>isis キーワードは、ルートの再配布元である IS-IS インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p> <p>ospf キーワードは、ルートの再配布元である OSPF インスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。</p>

デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次に、EIGRP のポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 rip policy statistics redistribute eigrp 201
```

関連コマンド

コマンド	説明
<i>clear ipv6 rip policy statistics</i>	RIP のポリシー統計情報をクリアします。
<i>show ipv6 rip</i>	RIP 情報を表示します。
<i>show ipv6 rip interface</i>	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
<i>show ipv6 rip neighbor</i>	ネイバーの RIP 情報を表示します。
<i>show ipv6 rip route</i>	RIP ルート情報を表示します。
<i>show ipv6 rip statistics</i>	RIP 統計情報を表示します。

show ipv6 rip route

RIP トポロジテーブルからルート情報を表示するには、任意のモードで **show ipv6 rip route** コマンドを使用します。

```
show ipv6 rip [vrf vrf-name] route [prefix/length] [summary]
```

シンタックスの説明	
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>prefix /length</i>	(任意) ルーティング情報を表示する IP または IPv6 プレフィクス
<i>summary</i>	(任意) 集約経路に関する情報を表示します。

デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンドモード 任意

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次に、**show ipv6 rip route** コマンドの出力例を示します。

```
:switch# show ipv6 rip route
```

表 39 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 39 show ipv6rip route フィールドの説明

フィールド	説明

関連コマンド	コマンド	説明
	<i>show ipv6 rip</i>	RIP 情報を表示します。
	<i>show ipv6 rip interface</i>	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
	<i>show ipv6 rip neighbor</i>	ネイバーの RIP 情報を表示します。
	<i>show ipv6 rip policy statistics</i>	RIP のポリシー統計情報を表示します。
	<i>show ipv6 rip statistics</i>	RIP 統計情報を表示します。

show ipv6 rip statistics

RIP トポロジ テーブルから統計エントリ情報を表示するには、任意のモードで **show ipv6 rip statistics** コマンドを使用します。

```
show ipv6 rip [vrf vrf-name] statistics [interface-type instance]
```

シンタックスの説明	vrf vrf-name (任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
	interface-type (任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
	instance (任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンス

コマンドのデフォルト設定 デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード 任意

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次に、**show ipv6 rip statistics** コマンドの出力例を示します。

```
switch# show ipv6 rip statistics
Global update stats:
  Sent Multicast Updates: periodic 0,triggered 0
  Sent Multicast Requests: 0
  Sent Unicast Updates: 544
  Sent Unicast Requests: 544
  Recv Multicast Updates: 0
  Recv Multicast Requests: 0
  Recv Unicast Updates: 500
  Recv Unicast Requests: 544
  Recv Bad Pkts: 0
  Recv Bad Routes: 0
```

表 40 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 40 show ipv6 rip statistics フィールドの説明

フィールド	説明
Sent Multicast Updates:	送信された RIP マルチキャスト アップデートの数
Sent Multicast Requests:	送信された RIP マルチキャスト要求の数
Sent Unicast Updates:	送信された RIP ユニキャスト アップデートの数
Sent Unicast Requests:	送信された RIP ユニキャスト要求の数
Recv Multicast Updates:	受信された RIP マルチキャスト アップデートの数
Recv Multicast Requests:	受信された RIP マルチキャスト要求の数
Recv Unicast Updates:	受信された RIP ユニキャスト アップデートの数
Recv Unicast Requests:	受信された RIP ユニキャスト要求の数
Recv Bad Pkts:	受信された不良 RIP パケットの数
Recv Bad Routes:	受信された不良 RIP ルートの数

関連コマンド

コマンド	説明
<i>show ipv6 rip</i>	RIP 情報を表示します。
<i>show ipv6 rip interface</i>	インターフェイスの RIP 情報を表示します。
<i>show ipv6 rip neighbor</i>	ネイバーの RIP 情報を表示します。
<i>show ipv6 rip policy statistics</i>	RIP のポリシー統計情報を表示します。
<i>show ipv6 rip route</i>	RIP ルート情報を表示します。

show ipv6 route

ユニキャスト RIB からルートを表示するには、**show ipv6 route** コマンドを使用します。

```
show ipv6 route [addr | prefix] [route-type][summary] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>addr</i>	(任意) IPv6 アドレス。フォーマットは A:B::C:D です。
<i>prefix</i>	(任意) IPv6 プレフィクス。フォーマットは A:B::C:D/length です。長さの範囲は 1 ~ 128 です。
<i>route-type</i>	(任意) ルート タイプ。タイプのリストを表示するには、? を使用します。
summary	(任意) ルート カウントを表示します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

- ネットワーク管理者
- ネットワーク オペレータ
- VDC 管理者
- VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、ルート テーブルを示します。

```
switch(config)# show ipv6 route
IPv6 Routing Table for VRF "default"

0::/127, ubest/mbest: 1/0
    *via 0::, Null0, [220/0], 18:03:20, discard, discard
fe80::/10, ubest/mbest: 1/0
    *via 0::, Null0, [220/0], 18:03:20, discard, discard
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear ipv6 route	ルート テーブルのエントリをクリアします。

show ipv6 static-route

ユニキャスト RIB からスタティック ルートを表示するには、**show ipv6 static-route** コマンドを使用します。

```
show ipv6 static-route [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	vrf vrf-name (任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。
------------------	---

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ VDC 管理者 VDC オペレータ
----------------------	---

コマンド履歴	リリース 変更内容
	4.0(1) このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにはライセンスは必要ありません。
-------------------	------------------------

例	次の例では、スタティック ルートを示します。
----------	------------------------

```
switch(config)# show ipv6 static-route
IPv6 Unicast Static Routes:
```

関連コマンド	コマンド 説明
	ipv6 route スタティック ルートを設定します。

show ipv6 traffic

IPv6 トラフィック情報を表示するには、**show ipv6 traffic** コマンドを使用します。

show ipv6 traffic

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、IPv6 トラフィック情報を示します。

```
switch(config)# show ipv6 traffic
IPv6 Software Processed Traffic and Error Statistics, last reset: never

RP-Traffic Statistics:
  Counter                Unicast  Multicast
  -----                -
Packets forwarded:             0      0
Bytes forwarded:               0      0
Packets originated:           0      0
Bytes originated:             0      0
Packets consumed:             0      0
Bytes consumed:               0      0
Fragments originated:         0      0
Fragments consumed:           0      0

Error Statistics:
Bad version: 0, route lookup failed: 0, hop limit exceeded: 0
Option header errors: 0, payload length too small: 0
PM errors: 0, Mbuf errors: 0, encapsulation errors: 0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ipv6 process	IPv6 プロセスに関する情報を表示します。

show ospfv3

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) ルーティング インスタンスに関する一般情報を表示するには、**show ospfv3** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	instance-tag (任意) インスタンス タグ。特定の OSPFv3 インスタンスに関する OSPFv3 情報を表示するのにこのタグを使用します。instance-tag 引数は、任意の英数字文字列です。
	vrf vrf-name (任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。vrf-name 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザ ロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 1 つまたは複数の OSPFv3 インスタンスに関する情報を表示するには、**show ospfv3** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、特定の 1 つの OSPFv3 インスタンスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ospfv3 201
Routing Process sd with ID 0.0.0.0 vrf default
Graceful-restart is configured
  grace period: 60, state: (null)
  Last graceful restart exit status: None
Supports only single TOS(TOS0) routes
Supports opaque LSA
Administrative distance 110
Reference Bandwidth is 40000 Mbps
Initial SPF schedule delay 200.000 msec,
  minimum inter SPF delay of 1000.000 msec,
  maximum inter SPF delay of 5000.000 msec
Minimum hold time for Router LSA throttle 5000.000 ms
Minimum hold time for Network LSA throttle 5000.000 ms
Minimum hold time for Intra-Area-Prefix LSA throttle 5000.000 ms
Minimum hold time for Link LSA throttle 5000.000 ms
Minimum LSA arrival 1000.000 msec
Maximum paths to destination 8
Number of external LSAs 0, checksum sum 0
Number of areas is 2, 2 normal, 0 stub, 0 nssa
Number of active areas is 0, 0 normal, 0 stub, 0 nssa
  Area BACKBONE(0) (Inactive)
    Area has existed for 01:13:04
    Interfaces in this area: 1 Active interfaces: 0
    SPF calculation has run 1 times
    Last SPF ran for 0.000433s
    Area ranges are
    Number of LSAs: 0, checksum sum 0
  Area (33) (Inactive)
    Area has existed for 01:13:04
    Interfaces in this area: 0 Active interfaces: 0
    SPF calculation has run 1 times
    Last SPF ran for 0.000053s
    Area ranges are
    Number of LSAs: 0, checksum sum 0
```

表 41 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 41 show ospfv3 フィールドの説明

フィールド	説明
Routing Process...	OSPFv3 インスタンス タグおよび OSPFv3 ルータ ID
Stateful High Availability	ステートフル再起動機能のステータス
Graceful-restart	グレースフル リスタート設定のステータス
grace period	OSPFv3 がグレースフル リスタートを開始する必要がある秒数
Last graceful restart exit status	最後のグレースフル リスタートの終了ステータス
Supports...	サポートされるサービス タイプの数 (タイプ 0 のみ)
Reference Bandwidth	コスト計算に使用する帯域幅
Initial SPF schedule delay	SPF 計算の遅延時間
Minimum LSA arrival	Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) の間の最小インターバル
Number of...	受信した LSA の数およびタイプ
Number of areas is...	ルータ用に設定されたエリアの数およびタイプ

show ospfv3 border-routers

Area Border Router (ABR; エリア境界ルータ) および Autonomous System Boundary Router (ASBR; 自律システム境界ルータ) に対して、OSPF バージョン 3 (OSPFv3) ルーティング テーブル エントリ を表示するには、**show ospfv3 border-routers** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] border-routers
```

シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。特定の OSPFv3 インスタンスに関する OSPFv3 情報を表示するのにこのタグを使用します。 <i>instance-tag</i> 引数は、任意の英数字文字列です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ABR および ASBR に関する情報を表示するには、**show ip ospfv3 border-routers** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、境界ルータに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ospfv3 border-routers

OSPFv3 Process ID p1, vrf default internal routing table
Codes: i - Intra-area route, I - Inter-area route

i 60.60.60.60 [10], ABR, Area 0.0.0.0, SPF 9
   via fe80::0206:d6ff:fec8:a41c, Ethernet2/5
i 60.60.60.60 [10], ABR, Area 0.0.0.1, SPF 9
   via fe80::0206:d6ff:fec8:a408, Ethernet2/6
```

表 42 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 42 show ospfv3 border-routers フィールドの説明

フィールド	説明
40.40.40.40	宛先のルータ ID
[10]	このルートを使用するコスト
ABR	宛先のルータ タイプ。タイプは ABR、ASBR、または両方です。
Area	このルートが学習されたエリアのエリア ID
SPF 71	このルートをインストールする Shortest Path First (SPF) 計算の内部番号
via fe80::0206:d6ff:fec8:a41c	宛先に対するネクストホップ
Ethernet2/1	発信インターフェイスのインターフェイス タイプ

show ospfv3 database

特定のルータの OSPF バージョン 3 (OSPFv3) データベースを表示するには、**show ospfv3 database** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] database [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] database asbr-summary [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] database database-summary
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] database external [ext_tag value] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] database network [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] database nssa-external [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] database opaque-area [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] database opaque-as [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] database opaque-link [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] database router [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail]
```

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] database summary [area-id] [link-state-id] [adv-router ip-address | self-originated] [detail]
```

シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>area-id</i>	(任意) 特定のエリアを定義するのに使用するエリア番号。IP アドレスまたは番号 (0 ~ 4294967295) のいずれかで指定します。
<i>link-state-id</i>	(任意) アドバタイズメントによって説明されるインターネット環境の部分。入力した値は、アドバタイズメントのリンクステートタイプによって異なります。IP アドレスの形式で指定します。
<i>adv-router ip-address</i>	(任意) 指定されたルータのすべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステートアドバタイズメント) を表示します。
<i>self-originate</i>	(任意) 自動送信 LSA (ローカルルータから) を表示します。
<i>asbr-summary</i>	(任意) Autonomous System Boundary Router (ASBR; 自律システム境界ルータ) サマリー LSA に関する情報を表示します。
<i>database-summary</i>	(任意) データベースの各エリアの各 LSA タイプと、LSA の総数を表示します。
<i>external</i>	(任意) 外部 LSA に関する情報を表示します。
<i>ext_tag value</i>	(任意) 外部タグに基づいた情報を表示します。範囲は 1 ~ 4294967295 です。

<i>network</i>	(任意) ネットワーク LSA に関する情報を表示します。
<i>nssa-external</i>	(任意) Not-So-Stubby Area (NSSA) 外部 LSA に関する情報を表示します。
<i>opaque-area</i>	(任意) 不透明なエリア LSA に関する情報を表示します。
<i>opaque-as</i>	(任意) 不透明な AS LSA に関する情報を表示します。
<i>opaque-link</i>	(任意) 不透明なリンクローカル LSA に関する情報を表示します。
<i>router</i>	(任意) ルータ LSA に関する情報を表示します。
<i>summary</i>	(任意) 集約 LSA に関する情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 異なる OSPFv3 LSA に関する情報を表示するには、**ipv6 ospfv3 database** コマンドを使用します。

LSA がネットワークを学習すると、*link-state-id* 引数は次のいずれかの形式を使用します。

- ネットワークの IP アドレス (タイプ 3 要約リンク アドバタイズメントおよび Autonomous System [AS; 自律システム] 外部リンク アドバタイズメントなど)
- リンク ステート ID から取得したアドレス (ネットワーク リンク アドバタイズメントのリンク ステート ID にネットワークのサブネット マスクをマスキングすると、ネットワークの IP アドレスを作成します)
- LSA がルータを説明する場合、リンク ステート ID は常に説明されたルータの OSPFv3 ルータ ID になります。
- AS 外部アドバタイズメント (LS タイプ = 5) がデフォルトのルートを説明する場合、そのリンク ステート ID はデフォルトの宛先 (0.0.0.0) に設定されます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、OSPFv3 データベースを表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 database

OSPFv3 Router with ID (40.40.40.40) (Process ID p1)

      Router Link States (Area 0)

Link ID          ADV Router      Age  Seq#           Link Count
0.0.0.0          40.40.40.40    301  0x8000006d     1
0.0.0.0          60.60.60.60    1655 0x80000a59     1

      Network Link States (Area 0)

Link ID          ADV Router      Age  Seq#           Routers
0.0.0.5          60.60.60.60    1655 0x8000005c     2
```

Inter-Area Prefix Link States (Area 0)

Link ID	ADV Router	Age	Seq#	Prefix
0.0.0.2	40.40.40.40	301	0x8000006a	1111:2222::/32
0.0.0.4	40.40.40.40	291	0x80000066	1111:6666::/32
0.0.0.6	40.40.40.40	291	0x80000066	6161:6161::6161/128
0.0.0.0	60.60.60.60	147	0x800009f6	6161:6161::6161/128
0.0.0.111	60.60.60.60	1655	0x8000005c	1111:6666::/32
0.0.0.112	60.60.60.60	1655	0x8000005c	1111:2222::/32

Intra-Area Prefix Link States (Area 0)

Link ID	ADV Router	Age	Seq#	Ref-lstyp	Ref-LSID
1.0.0.0	40.40.40.40	301	0x8000006e	Router	0.0.0.0
0.0.0.0	60.60.60.60	1655	0x80000a32	Router	0.0.0.0
0.0.3.237	60.60.60.60	1655	0x8000005c	Network	0.0.0.5

Link-Local Link States (Area 0)

Link ID	ADV Router	Age	Seq#	Interface
0.0.0.1	40.40.40.40	341	0x80000066	Enet2/1
0.0.0.3	40.40.40.40	341	0x80000066	Enet24
0.0.0.4	40.40.40.40	301	0x8000006d	Enet25
0.0.0.5	60.60.60.60	147	0x80000917	Enet25

Router Link States (Area 1)

Link ID	ADV Router	Age	Seq#	Link Count
0.0.0.0	40.40.40.40	291	0x8000006d	1
0.0.0.0	60.60.60.60	1655	0x80000abd	1

Network Link States (Area 1)

Link ID	ADV Router	Age	Seq#	Routers
0.0.0.4	60.60.60.60	1655	0x8000005c	2

Inter-Area Prefix Link States (Area 1)

Link ID	ADV Router	Age	Seq#	Prefix
0.0.0.1	40.40.40.40	291	0x8000006a	1111:1111::/32
0.0.0.3	40.40.40.40	331	0x80000066	1111:4444::0001/128
0.0.0.5	40.40.40.40	291	0x80000066	6060:6060::6060/128
0.0.0.0	60.60.60.60	147	0x800009f6	6060:6060::6060/128
0.0.0.156	60.60.60.60	409	0x8000005d	1111:5555::/32
0.0.0.158	60.60.60.60	1655	0x8000005c	1111:1111::/32
0.0.0.159	60.60.60.60	1655	0x8000005c	1111:4444::0001/128

Intra-Area Prefix Link States (Area 1)

Link ID	ADV Router	Age	Seq#	Ref-lstyp	Ref-LSID
1.0.0.0	40.40.40.40	291	0x8000006e	Router	0.0.0.0
0.0.0.0	60.60.60.60	1655	0x80000a54	Router	0.0.0.0
0.0.3.236	60.60.60.60	1655	0x8000005c	Network	0.0.0.4

Link-Local Link States (Area 1)

Link ID	ADV Router	Age	Seq#	Interface
0.0.0.2	40.40.40.40	341	0x80000066	Enet2/2
0.0.0.5	40.40.40.40	291	0x8000006d	Enet2/6
0.0.0.4	60.60.60.60	1655	0x8000005d	Enet2/6

表 43 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 43 show ospfv3 database フィールドの説明

フィールド	説明
Link ID	ルータ ID 番号
ADV Router	アドバタイズ ルータの ID
Age	リンク ステート経過時間
Seq#	リンク ステート シーケンス番号 (以前の、または重複した LSA を検出します)
Checksum	LSA の内容全体のチェックサム
Link count	ルータ用に検出されたインターフェイスの数

次に、ASBR のサマリーを表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 database asbr-summary

OSPFv3 Router with id(192.168.239.66) (Process ID 300)

        Displaying Summary ASB Link States(Area 0.0.0.0)

LS age: 1463
Options: (No TOS-capability)
LS Type: Summary Links(AS Boundary Router)
Link State ID: 172.16.245.1 (AS Boundary Router address)
Advertising Router: 172.16.241.5
LS Seq Number: 80000072
Checksum: 0x3548
Length: 28
Network Mask: 0.0.0.0 TOS: 0 Metric: 1
```

表 44 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 44 show ospfv3 database asbr-summary フィールドの説明

フィールド	説明
OSPFv3 Router with id	ルータ ID 番号
Process ID	OSPFv3 process ID.
LS age	リンク ステート経過時間
Options	サービス オプションのタイプ (タイプ 0 のみ)
LS Type	リンク ステート タイプ
Link State ID	リンク ステート ID (ASBR)
Advertising Router	アドバタイズ ルータの ID
LS Seq Number	リンク ステート シーケンス (以前の、または重複した LSA を検出します)
Checksum	LSA の内容全体のチェックサム
Length	LSA の長さ (バイト単位)
Network Mask	実行されたネットワーク マスク
TOS	Type of Service (ToS; タイプ オブ サービス)
Metric	リンク ステート メトリック

次に、外部リンクに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 database external

OSPFv3 Router with id(192.168.239.66) (Autonomous system 300)

          Displaying AS External Link States

LS age: 280
Options: (No TOS-capability)
LS Type: AS External Link
Link State ID: 10.105.0.0 (External Network Number)
Advertising Router: 172.16.70.6
LS Seq Number: 80000AFD
Checksum: 0xC3A
Length: 36
Network Mask: 255.255.0.0
          Metric Type: 2 (Larger than any link state path)
          TOS: 0
          Metric: 1
          Forward Address: 0.0.0.0
          External Route Tag: 0
```

表 45 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 45 show ospfv3 database external フィールドの説明

フィールド	説明
OSPFv3 Router with id	ルータ ID 番号
Autonomous system	OSPFv3 AS 番号 (OSPFv3 プロセス ID)
LS age	リンク ステート経過時間
Options	サービス オプションのタイプ (タイプ 0 のみ)
LS Type	リンク ステートタイプ
Link State ID	リンク ステート ID (外部ネットワーク番号)
Advertising Router	アドバタイズルータの ID
LS Seq Number	リンク ステートシーケンス番号 (以前の、または重複した LSA を検出します)
Checksum	LSA の内容全体のチェックサム
Length	LSA の長さ (バイト単位)
Network Mask	実行されたネットワーク マスク
Metric Type	外部タイプ
TOS	ToS
Metric	リンク ステートメトリック
Forward Address	転送アドレス。アドバタイズされた宛先へのデータトラフィックは、このアドレスに転送されます。転送アドレスが 0.0.0.0 に設定されている場合、データトラフィックは代わりにアドバタイズメントの発信元に転送されます。
External Route Tag	外部ルートタグ。外部ルートごとに付加された 32 ビットのフィールド。このフィールドは、OSPFv3 プロトコルには使用されません。

次に、OSPFv3 データベースのサマリーを表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 database database-summary

OSPFv3 Router with ID (100.0.0.1) (Process ID 1)

Area 0 database summary
LSA Type      Count  Delete  Maxage
Router        3      0       0
Network       0      0       0
Summary Net   0      0       0
Summary ASBR  0      0       0
Type-7 Ext    0      0       0
  Self-originated Type-7  0
Opaque Link   0      0       0
Opaque Area   0      0       0
Subtotal      3      0       0

Process 1 database summary
LSA Type      Count  Delete  Maxage
Router        3      0       0
Network       0      0       0
Summary Net   0      0       0
Summary ASBR  0      0       0
Type-7 Ext    0      0       0
Opaque Link   0      0       0
Opaque Area   0      0       0
Type-5 Ext    0      0       0
  Self-originated Type-5  200
Opaque AS     0      0       0
Total         203    0       0
```

表 46 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 46 show ospfv3 database database-summary フィールドの説明

フィールド	説明
Area 0 database summary	エリア番号
Count	最初の列で特定されたタイプの LSA の数
Router	エリアのルータ LSA の数
Network	エリアのネットワーク LSA の数
Summary Net	エリアの要約 LSA の数
Summary ASBR	エリアの要約 ASBR LSA の数
Type-7 Ext	タイプ 7 LSA の数
Self-originated Type-7	自動送信タイプ 7 LSA
Opaque Link	タイプ 9 LSA の数
Opaque Area	タイプ 10 LSA の数
Subtotal	エリアの LSA の合計
Delete	エリアで「Deleted」とマークされた LSA の数
Maxage	エリアで「Maxaged」とマークされた LSA の数
Process 1 database summary	プロセスのデータベース サマリー
Count	最初の列で特定されたタイプの LSA の数
Router	プロセスのルータ LSA の数
Network	プロセスのネットワーク LSA の数
Summary Net	プロセスのサマリー LSA の数
Summary ASBR	プロセスの要約 ASBR LSA の数

表 46 show ospfv3 database database-summary フィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Type-7 Ext	タイプ 7 LSA の数
Opaque Link	タイプ 9 LSA の数
Opaque Area	タイプ 10 LSA の数
Type-5 Ext	タイプ 5 LSA の数
Self-Originated Type-5	自動送信タイプ 5 LSA の数
Opaque AS	タイプ 11 LSA の数
Total	プロセスの LSA の合計

show ospfv3 interface

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) 関連のインターフェイス情報を表示するには、**show ospfv3 interface** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 interface [instance-tag] [vrf vrf-name] [interface-type interface-number] [brief]
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。 <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。
<i>interface-number</i>	(任意) インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。
<i>brief</i>	(任意) ルータ上の OSPFv3 インターフェイス、ステート、アドレス、マスク、およびエリアの概要情報を表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザ ロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン インターフェイスの OSPFv3 ステータスを表示するには、**show ospfv3 interface** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、インターフェイス Ethernet 1/2 の OSPFv3 情報を表示する例を示します。

```
switch# show ospfv3 interface ethernet 1/2
Ethernet1/2 is up, line protocol is up
  IP address 192.0.2.1, Process ID 201 vrf default, area 10
  IPv6 address 2001:0DB8::1
  Process ID sd vrf default, Instance ID 0, area 0
  State DOWN, Network type P2P, cost 65535
  Index 1, Transmit delay 1 sec
  0 Neighbors, flooding to 0, adjacent with 0
  Timer intervals: Hello 10, Dead 40, Wait 40, Retransmit 5
  Number of link LSAs: 0, checksum sum 0
```

表 47 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 47 show ospfv3 interface フィールドの説明

フィールド	説明
Ethernet	プロトコルの物理リンクのステータスおよび動作ステータス
IPv6 Address	インターフェイス IPv6 アドレス
vrf	VRF インスタンス
Transmit Delay	転送遅延、インターフェイス ステート、およびルータ プライオリティ
designated router	代表ルータ ID およびインターフェイス IP アドレス
backup designated router	バックアップ代表ルータ ID およびインターフェイス IP アドレス
Timer intervals	タイマー間隔の設定
Hello	次の hello パケットをこのインターフェイスに送信するまでの秒数

show ospfv3 memory

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) プロトコルのメモリ使用統計情報を表示するには、**show ospfv3 memory** コマンドを使用します。

show [ipv6] ospfv3 memory

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、OSPFv3 のメモリ統計情報を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 memory
OSPFv3 Process ID sd, Memory statistics
  Process memory: 2096 KB
  Byte usage:      needed 0, overhead 192, using 192 bytes
  Allocations:    current 6, created 6, failed 0, free 0
  Bitfields:      current 30, created 30, failed 0, free 0, using 248010 bytes
  Slabs:          current 2, created 2, failed 0, free 0, using 80 bytes
  Index failure:  Interface 0, Neighbor 0

Slab Memory
OSPFv3 vertex slab
Alloc 1, max allocs 1, total allocs 1, total frees 0
Total block allocs 1, total block frees 0, max blocks 1
Bytes (size/allocated) 68/69720
OSPFv3 IPv4 prefix routes slab
Alloc 0, max allocs 0, total allocs 0, total frees 0
Total block allocs 0, total block frees 0, max blocks 0
Bytes (size/allocated) 188/64
OSPFv3 router routes slab
Alloc 0, max allocs 0, total allocs 0, total frees 0
Total block allocs 0, total block frees 0, max blocks 0
Bytes (size/allocated) 100/64
OSPFv3 IPv4 next-hops slab
Alloc 1, max allocs 1, total allocs 1, total frees 0
Total block allocs 1, total block frees 0, max blocks 1
Bytes (size/allocated) 32/262232
```

表 48 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 48 show ospfv3 memory フィールドの説明

フィールド	説明

show ospfv3 neighbors

インターフェイス単位で OSPF バージョン 3 (OSPFv3) ネイバー情報を表示するには、**show ospfv3 neighbor** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] neighbors [interface-type interface-number]
[neighbor-id] [detail] [summary]
```

シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>area-id</i>	(任意) 特定のエリアを定義するのに使用するエリア番号。IP アドレスまたは番号 (0 ~ 4294967295) で指定します。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。 <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。
<i>interface-number</i>	(任意) インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。
<i>neighbor-id</i>	(任意) ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。
<i>detail</i>	(任意) 特定のすべてのネイバーを詳細に表示します (すべてのネイバーを表示します)。
<i>summary</i>	(任意) ネイバーのサマリーを表示します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意

サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

この OSPFv3 インスタンスのすべての、または一部のネイバーに関する情報を表示するには、**show ospfv3 neighbors** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、ネイバー ID と一致するネイバーに関するサマリー情報を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 neighbors
OSPFv3 Process ID p1 vrf Red
Total number of neighbors: 2
Neighbor ID      Pri State          Up Time  Interface ID  Interface
60.60.60.60      1 FULL/DR          2d03h   5             GigE2/0/5
Neighbor address fe80::0206:d6ff:fec8:a41c
60.60.60.60      1 FULL/DR          2d03h   4             GigE2/0/6
Neighbor address fe80::0206:d6ff:fec8:a408
```

表 49 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 49 show ospfv3 neighbors フィールドの説明

フィールド	説明
Neighbor ID	ネイバー ルータ ID
Pri State	OSPFv3 のプライオリティおよびステート
Up Time	OSPFv3 がこのネイバーとの隣接関係を確立してからの時間

show ospfv3 policy statistics area

エリアの OSPF バージョン 3 (OSPFv3) ポリシー統計情報を表示するには、**show ospfv3 policy statistics area** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] policy statistics area area id filter-list {in | out}
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>area area-id</i>	特定のエリアを定義するのに使用するエリア番号を指定します。IP アドレスまたは番号 (0 ~ 4294967295) で指定します。
<i>filter-list</i>	OSPFv3 エリアの間のプレフィクスをフィルタリングします。
<i>in</i>	着信ルートのポリシー統計情報を表示します。
<i>out</i>	発信ルートのポリシー統計情報を表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン エリアに適用されたフィルタ リストに関する情報を表示するには、**show ospfv3 policy statistics area** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、OSPFv3 のポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ospfv3 policy statistics area
```

show ospfv3 policy statistics redistribute

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) ポリシー統計情報を表示するには、**show ospfv3 policy statistics redistribute** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] policy statistics redistribute {bgp id | direct | isis id | rip id | static}
```

シンタックスの説明

<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>bgp</i>	Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル) のポリシー統計情報を表示します。
<i>direct</i>	直接接続されたルートのポリシー統計情報のみを表示します。
<i>isis</i>	IS-IS ルーティング プロトコルのポリシー統計情報を表示します。
<i>rip</i>	RIP のポリシー統計情報を表示します。
<i>static</i>	IP スタティック ルートのポリシー統計情報を表示します。
<i>id</i>	bgp キーワードは、Autonomous System (AS; 自律システム) 番号です。2 バイトの番号の範囲は 1 ~ 65535 です。4 バイトの番号の範囲は 1.0 ~ 65535.65535 です。 isis および rip キーワードは、ルートの再配布元であるインスタンスの名前です。値は文字列の形式を取ります。10 進数を入力できますが、Cisco NX-OS はこれを文字列として内部に保存します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

再配布統計情報を表示するには、**show ospfv3 policy statistics redistribute** コマンドを使用します。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、再配布ルートのポリシー統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ospfv3 policy statistics redistribute
```

show ospfv3 request-list

ルータが要求した、すべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステートアドバタイズメント) のリストを表示するには、**show ospfv3 request-list** コマンドを使用します。

show [ipv6] ospfv3 request-list neighbor-id interface interface-number

シンタックスの説明	neighbor-id	interface-type	interface-number
	ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。	インターフェイス タイプ <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。	インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン OSPF バージョン 3 (OSPFv3) ルーティング動作をトラブルシューティングするには、**show ospfv3 request-list** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、ルータが要求したすべての LSA のリストを表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 request-list 40.40.40 ethernet 2/1
OSPFv3 Process ID p1
Neighbor 40.40.40.40, interface Ethernet2/1, address 192.0.2.1
1 LSAs on request-list

Type  LS ID          ADV RTR          Seq NO          Age          Checksum
1    192.0.2.12      192.0.2.12      0x8000020D     8            0x6572
```

表 50 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 50 show ospfv3 request-list フィールドの説明

フィールド	説明
Type	LSA タイプ
LS ID	ネイバー ルータの IP アドレス
ADV RTR	アドバタイズ ルータの IP アドレス
Seq NO	LSA のパケットシーケンス番号
Age	LSA の経過時間 (秒単位)
Checksum	LSA のチェックサム番号

show ospfv3 retransmission-list

ネイバーへの再送信を待機する、すべての Link-State Advertisement (LSA; リンクステートアドバタイズメント) のリストを表示するには、**show ospfv3 retransmission-list** コマンドを使用します。

show [ipv6] ospfv3 retransmission-list neighbor-id interface interface-number

シンタックスの説明	neighbor-id	interface-type	interface-number
	ネイバーのルータ ID。IP アドレスを指定します。	インターフェイス タイプ <i>interface-type</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス タイプの情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。	インターフェイス番号。 <i>interface-number</i> 引数が含まれる場合、指定されたインターフェイス番号の情報のみが含まれます。ヘルプ機能で、この引数で使用可能なオプションを表示するには、CLI で ? を入力します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン OSPF バージョン 3 (OSPFv3) ルーティング動作をトラブルシューティングするには、**show ospfv3 retransmission-list** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、ネイバーへの再送信を待機するすべての LSA を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 retransmission-list 192.0.2.11 ethernet 2/1

      OSPFv3 Router with ID (192.0.2.12) (Process ID 1)

Neighbor 192.0.2.11, interface Ethernet2/1 address 209.165.201.11
Link state retransmission due in 3764 msec, Queue length 2

Type  LS ID          ADV RTR          Seq NO          Age          Checksum
  1   192.0.2.12      192.0.2.12      0x80000210      0           0xB196
```

表 51 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 51 show ospfv3 retransmission-list フィールドの説明

フィールド	説明
Type	LSA タイプ
LS ID	ネイバー ルータの IP アドレス
ADV RTR	アドバタイズ ルータの IP アドレス
Seq NO	LSA のパケットシーケンス番号
Age	LSA の経過時間 (秒単位)
Checksum	LSA のチェックサム番号

show ospfv3 routes

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) トポロジ テーブルを表示するには、**show ospfv3 routes** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] routes [prefix/length | summary]
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」 および 「all」 文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>prefix /length</i>	(任意) IP プレフィクス。特定のルートへの出力を制限します。 <i>length</i> は、スラッシュ (/) と 1 ~ 255 の数で表示されます。たとえば、/8 は、IP プレフィクスの最初の 8 ビットがネットワーク ビットであることを示します。
<i>summary</i>	(任意) すべてのルートのサマリーを表示します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン OSPFv3 プライベート ルーティング テーブル (OSPFv3 によって計算されるルートのみを含む) を表示するには、**show ospfv3 routes** コマンドを使用します。ルーティング情報ベース (RIB) 内のルートに異常がある場合、ルートの OSPFv3 コピーをチェックして、RIB 内容と一致するかどうか判断してください。一致しない場合、OSPFv3 と RIB の間に同期化問題があります。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、OSPFv3 ルートを表示する例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show ospfv3 routes
OSPFv3 routing table
1111:1111::/32 (i) area 0
    via directly connected
1111:2222::/32 (i) area 1
    via directly connected
1111:4444::0001/128 (i) area 0
    via directly connected
1111:5555::/32 (i) area 0
1111:6666::/32 (i) area 1
    via directly connected
6060:6060::6060/128 (i) area 0
    via fe80::0206:d6ff:fec8:a41c/Enet2/5, cost 10
6161:6161::6161/128 (i) area 1
    via fe80::0206:d6ff:fec8:a408/Enet2/6, cost 10
```

表 52 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 52 show ospfv3 route フィールドの説明

フィールド	説明
1111:1111::/32	このルートを実行しているルータのルータ ID
via...	特定のプレフィクス宛ての packets は、表示されたインターフェイスで送信されるか、またはこのデバイスに直接接続されます。

show ospfv3 statistics

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) Shortest Path First (SPF) 計算統計情報を表示するには、**show ospfv3 statistics** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] statistics
```

シンタックスの説明	<i>instance-tag</i> (任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
	<i>vrf vrf-name</i> (任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン LSA に関する情報を表示するには、**show ip ospfv3 statistics** コマンドを使用します。この情報は、OSPFv3 ネットワークのメンテナンスとトラブルシューティング両方に役立ちます。たとえば、LSA フラッピングのトラブルシューティングの第一段階として **show ospfv3 statistics** コマンドを使用することを推奨します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例

次に、SPF 計算に関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 statistics
OSPFv3 Process pl vrf default, Event statistics (cleared 2w3d ago)

Router ID changes: 0
DR elections: 5
Older LSAs received: 0
Neighbor state changes: 10
Neighbor dead postponed: 0
Neighbor dead interval expirations: 0
Neighbor bad lsreqs: 0
Neighbor sequence number mismatches: 0
SPF computations: 9 full, 0 summary, 0 external

      LSA Type Generated Refreshed Flushed Aged out
      Router      4      202      0      0
      Network     0       0      0      0
Inter-Area-Prefix 0      606      7      0
Inter-Area-Router 0       0      0      0
      AS External  0       0      0      0
      Link-Local   7      505      0      0
Intra-Area-Prefix 6      202      0      0
      Unknown     0       0      0      0

Following counters can not be reset:

LSA deletions: 0 pending, 2 hwm, 16 deleted, 0 revived, 2 runs
Hello queue: 0/200, hwm 2, drops 0
Flood queue: 0/100, hwm 2, drops 0
LSDB additions failed: 0

      Buffers:   in use      hwm permanent      alloc      free
128 bytes      0         2         1      142512    142512
512 bytes      0         2         2         779      779
1520 bytes     0         1         0         1         1
4500 bytes     0         1         1         891      891
      huge      0         0         0         0         0
```

表 53 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 53 show ospfv3 statistics フィールドの説明

フィールド	説明
OSPFv3 process	設定内の OSPFv3 インスタンスに割り当てられた一意な値
vrf	この OSPFv3 インスタンスの VRF
DR elections	新しい代表ルータが選択された回数
Neighbor...	ネイバーの詳細
LSA Type	各タイプの LSA が送信された数

show ospfv3 summary-address

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) インスタンスに設定されたすべてのサマリー アドレス再配布情報のリストを表示するには、**show ospfv3 summary-address** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] summary-address
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、サマリー アドレスに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 summary-address

OSPFv3 Router with ID (40.40.40.40) (Process ID p1Configured summary-address

2000::/8 Pending
6161::/16 Pending
```

表 54 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 54 show ospfv3 summary-address フィールドの説明

フィールド	説明
10.2.0.0/255.255.0.0	OSPFv3 プロセスのルータの IP アドレスおよびマスク
Metric -1	OSPFv3 メトリック タイプ
Type 0	LSA のタイプ
Tag 0	OSPFv3 プロセス タグの ID

show ospfv3 traffic

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) トラフィック統計情報を表示するには、**show ospfv3 traffic** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] traffic
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。英数字文字列で指定します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」 および 「all」 文字列は予約済みの VRF 名です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 1 つまたは複数の OSPFv3 インスタンスのトラフィック統計情報を表示するには、**show ospfv3 traffic** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、OSPFv3 トラフィック統計情報を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 traffic

OSPFv3 Process ID p1, vrf Red, Packet Counters (cleared 2w3d ago)
Total: 1690 in, 349230 out
LSU transmissions: first 100, rxmit 108, for req 16
Flooding packets output throttled (IP/tokens): 0 (0/0)
Ignored LSAs: 0, LSAs dropped during SPF: 0
LSAs dropped during graceful restart: 0
Errors: drops in      0, drops out      0, errors in      0
        errors out    0, unknown in    0, unknown out    0
        no ospfv3     0, bad version  0, bad crc        0
        dup rid       0, dup src       0, invalid src    0
        invalid dst   0, no nbr       0, passive       0
        wrong area    0, nbr changed  0, rid/ip addr   0
        bad auth      0

                hellos      dbds      lsreqs      lsus      acks
In:             1411         70         16          136       57
Out:            348871       62         4           224       69
```

表 55 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 55 show ospfv3 traffic フィールドの説明

フィールド	説明
OSPFv3 Process	これらのトラフィック統計情報の OSPFv3 インスタンス タグ
vrf	この OSPFv3 インスタンスの VRF
エラー	
drops	ドロップされたパケットの数
bad version	間違ったバージョンで受信されたパケットの数
dup rid	重複したルータ ID のあるパケットの数
dup src	重複した送信元アドレスのあるパケットの数
no nbr	フル ネイバーではないルータからのパケットの数
nbr changed rid/ip addr	ネイバーの値と一致しないルータ ID/IP アドレスのペアのあるパケットの数
lsreq	タイプ LSREQ のパケットの数 (必要な LSA)
lsacks	タイプ LSACK のパケットの数 (確認応答された LSA)

関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear ipv6 ospfv3 traffic</code>	OSPFv3 トラフィック統計情報をクリアします。

show ospfv3 virtual-links

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) 仮想リンクのパラメータと現在のステータスを表示するには、**show ospfv3 virtual-links** コマンドを使用します。

```
show [ipv6] ospfv3 [instance-tag] [vrf vrf-name] virtual-links [brief]
```

シンタックスの説明	
<i>instance-tag</i>	(任意) インスタンス タグ。特定の OSPFv3 インスタンスに関する OSPFv3 情報を表示するのにこのタグを使用します。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの名前。 <i>vrf-name</i> 引数に、最大 32 文字の英数字文字列 (大文字と小文字を区別しない) を指定できます。「default」および「all」文字列は予約済みの VRF 名です。
<i>brief</i>	(任意) 設定済み仮想リンクのサマリーを表示します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 設定済み仮想リンクに関する情報を表示するには、**show ospfv3 virtual-links** コマンドを使用します。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

例 次に、仮想リンクに関する情報を表示する例を示します。

```
Router# show ospfv3 virtual-links

Virtual link 2 to router 40.40.40.40 is up
  Process ID p1 vrf default, Transit area 1, via interface Ethernet1/2, cost 10
  Transit area 33, remote addr 0::
  IPv6 address 0::
  Process ID sd vrf default, Instance ID 0, area 0
  State DOWN, Network type P2P, cost 65535
  Index 1, Transmit delay 1 sec
  0 Neighbors, flooding to 0, adjacent with 0
  Timer intervals: Hello 10, Dead 40, Wait 40, Retransmit 5
  Number of link LSAs: 0, checksum sum 0
  Adjacency Information
```

表 56 に、この出力で表示される重要なフィールドについて説明します。

表 56 show ospfv3 virtual-links フィールドの説明

フィールド	説明
Virtual Link	OSPFv3 ネイバーと、そのネイバーへのリンクがアップまたはダウンであるかを示します。
vrf	この OSPFv3 インスタンスの VRF
Transit area...	仮想リンクが形成される通過エリア
via interface...	仮想リンクが形成されるインターフェイス
cost	仮想リンクによって OSPFv3 ネイバに到達するコスト
Transmit delay	仮想リンク上の送信遅延 (秒単位)
Timer intervals...	リンク用に設定された様々なタイマー間隔
Hello timer due in 0:00:04	次の hello をネイバーから送信する時間

show routing

ルーティング情報を表示するには、**show routing** コマンドを使用します。

```
show routing [ip | ipv4 | ipv6] [address | prefix | route-type | clients | interface type number | next-hop
addr | recursive-next-hop [addr]] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>address</i>	(任意) IPv4 または IPv6 アドレス。IPv4 アドレスのフォーマットは x.x.x.x です。IPv6 アドレスのフォーマットは A:B::C:D です。
<i>prefix</i>	(任意) IPv4 または IPv6 プレフィクス。IPv4 プレフィクスのフォーマットは、x.x.x.x/length です。IPv6 プレフィクスのフォーマットは A:B::C:D/length です。
<i>route-type</i>	(任意) ルート タイプ。タイプのリストを表示するには、? を使用します。
clients	(任意) すべてのルーティングクライアントを表示します。
interface type number	(任意) インターフェイスのルートを表示します。サポートされたインターフェイスを表示するには、? を使用します。
next-hop addr	(任意) このネクストホップ アドレスのあるルートを表示します。フォーマットは、x.x.x.x です。
recursive next-hop addr	(任意) この再帰ネクストホップ アドレスのあるルートを表示します。フォーマットは、x.x.x.x です。
vrf vrf-name	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次の例では、ルートテーブルを示します。

```
switch(config)# show ip routing
IP Route Table for VRF "default"
'*' denotes best ucast next-hop      '**' denotes best mcast next-hop
'[x/y]' denotes [preference/metric]

0.0.0.0/32, 1 ucast next-hops, 0 mcast next-hops
  *via Null0, [220/0], 00:45:24, local, discard
255.255.255.255/32, 1 ucast next-hops, 0 mcast next-hops
  *via sup-eth1, [0/0], 00:45:24, local
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear ip route</code>	ルートテーブルのエントリをクリアします。

show routinghash

特定の送信元および宛先アドレス用に選択されたルートを表示するには、**show routing hash** コマンドを使用します。

```
show routing hash source-addr dest-addr [source-port dest-port] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明	
<i>source-addr</i>	送信元 IPv4 アドレス。IPv4 アドレスのフォーマットは x.x.x.x です。
<i>dest-addr</i>	宛先 IPv4 アドレス。IPv4 アドレスのフォーマットは x.x.x.x です。
<i>source-port</i>	(任意) 送信元ポート。範囲は 1 ~ 65535 です。
<i>dest-port</i>	(任意) 宛先元ポート。範囲は 1 ~ 65535 です。
<i>vrf vrf-name</i>	(任意) 仮想ルータ コンテキスト (VRF) 名を指定します。名前は、最大 64 文字の、大文字と小文字を区別した英数字文字列です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
ネットワーク オペレータ
VDC 管理者
VDC オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例 次の例では、10.0.0.5 から 30.0.0.2 に到達するために選択したルートを示します。

```
switch# show routing hash 10.0.0.5 30.0.0.2
Load-share parameters used for software forwarding:
load-share mode: address source-destination port source-destination
Universal-id seed: 0xe05e2e85
Hash for VRF "default"
Hashing to path *20.0.0.2 (hash: 0x0e), for route:
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear ip route	ルートテーブルのエントリをクリアします。

show track

オブジェクト トラッキングに関する情報を表示するには、**show track** コマンドを使用します。

```
show track [object-id] [interface | ip route] [brief]
```

シンタックスの説明

<i>object-id</i>	(任意) トラッキング ID。範囲は 1 ~ 500 です。
interface	(任意) トラッキングされたインターフェイスに関する情報を表示します。
ip route	(任意) トラッキングされた IP ルートに関する情報を表示します。
brief	(任意) トラッキングされたオブジェクトに関する簡単な情報を表示します。

デフォルト

トラッキングされたすべてのオブジェクトに関する情報を表示します。

コマンド モード

任意

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにはライセンスは必要ありません。

例

次に、トラッキングされたインターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show track interface
Track 1
  Interface Ethernet1/2 IP Routing
  IP Routing is DOWN
  1 changes, last change 00:35:14

Track 2
  Interface Ethernet2/2 Line Protocol
  Line Protocol is DOWN
  1 changes, last change 00:33:55

Track 4
  Interface Ethernet2/45 IP Routing
  IP Routing is DOWN
  1 changes, last change 00:17:03

Track 6
  Interface Ethernet2/34 Line Protocol
  Line Protocol is DOWN
  1 changes, last change 00:15:12
```

次に、トラッキングされた IP ルートに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show track ip route
Track 3
  IP Route 10.10.10.0/8 Reachability
  Reachability is DOWN
  1 changes, last change 00:22:09
```

次に、トラッキングされたオブジェクトに関する簡単な情報を表示する例を示します。

```
switch# show track brief
Track Type           Instance           Parameter          State  Last Change
1   Interface         Ethernet1/2        IP Routing         DOWN   00:36:42
2   Interface         Ethernet2/2        Line Protocol      DOWN   00:35:22
3   IP Route          10.10.10.0/8      Reachability       DOWN   00:22:47
4   Interface         Ethernet2/45       IP Routing         DOWN   00:18:31
6   Interface         Ethernet2/34       Line Protocol      DOWN   00:16:40
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
track interface	インターフェイスのステータスを追跡します。
track ip route	IP ルートのステータスを追跡します。